

# 鏡野町地域公共交通計画

---

---

(案)

令和3年3月

鏡野町地域公共交通会議



# 目 次

---

---

第1章 鏡野町地域公共交通計画の概要 .....	1
1-1 計画の背景と目的 .....	1
1-2 計画の位置付け .....	1
1-3 計画の区域 .....	1
1-4 計画の期間 .....	1
第2章 地域及び公共交通等の概況 .....	2
2-1 地域の概況 .....	2
2-2 公共交通の概況 .....	3
第3章 住民及び利用者の移動特性と公共交通への意識・ニーズ .....	11
3-1 住民アンケート調査 .....	11
3-2 バス利用者アンケート調査 .....	22
第4章 上位計画・関連計画におけるまちづくりと公共交通の方向性 .....	26
第5章 公共交通の課題整理 .....	29
第6章 公共交通の基本理念・方針と目標 .....	31
6-1 基本理念と基本方針 .....	31
6-2 公共交通の目標と数値指標 .....	32
第7章 目標達成に向けて取り組む施策 .....	35
7-1 目標達成に向けて取り組む施策の概要 .....	35
7-2 施策の一覧と事業スケジュール .....	42
8章 計画の実現に向けて .....	43
8-1 計画推進のための体制構築 .....	43
8-2 PDCAサイクルに基づく継続的な計画の見直し .....	43
資料編	



# 第1章 鏡野町地域公共交通計画の概要

## 1-1 計画の背景と目的

- ・少子高齢化・人口減少時代の到来や社会経済情勢の変化に伴い、地域公共交通の利用者は長期的に減少傾向にあります。地方においては、路線バス事業者が不採算路線から撤退することにより交通空白地域の発生する状況であるとともに、高齢者の免許返納や学生の通学手段問題などから、住民の移動手段確保が重要かつ切実な課題となっており、鏡野町において同様の状況が見られるところです。
- ・このような状況を踏まえ、鏡野町内のバスについて、需要ニーズや移動状態を調査し、効率性の高いバス運行や拠点機能を検討し、公共交通の利便性を向上させる交通施策を進めていく必要があります。
- ・以上のことから、鏡野町におけるバスの在り方について調査・検討し、今後の方向性を決定するとともに、これを踏まえた「鏡野町地域公共交通計画」を策定いたします。

## 1-2 計画の位置付け

- ・本計画は下図に示すように、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、鏡野町第2次総合計画を上位計画に置き、関連する計画を踏まえ、鏡野町公共交通会議を開催し策定するものです。

上位計画

鏡野町第2次総合計画

鏡野町地域公共交通計画

関連計画

- ・津山圏域定住自立圏共生ビジョン
  - ・かがみの創生総合戦略
- 等

## 1-3 計画の区域

- ・鏡野町全域を計画の対象とします

## 1-4 計画の期間

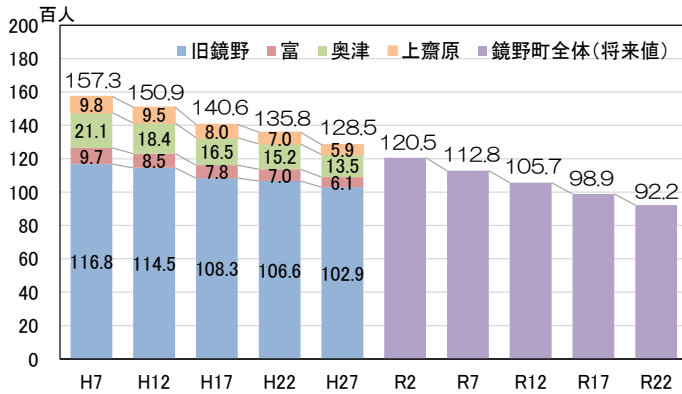
- ・令和3年度～令和7年度の5年間とします。

## 第2章 地域及び公共交通等の概況

### 2-1 地域の概況

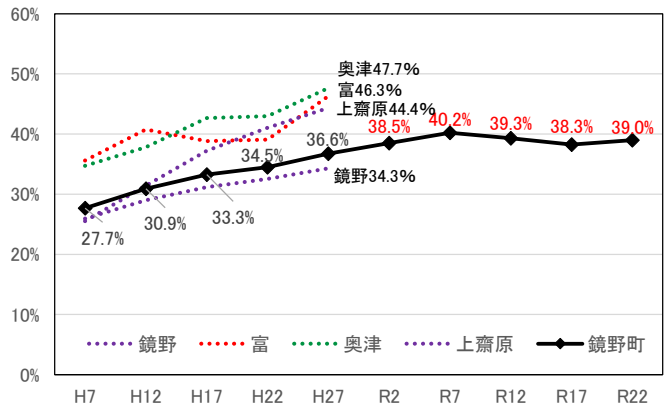
#### (1) 人口推移

- ・居住人口は減少傾向で将来も続き、R17では1万人を下回ると予測されています。少子高齢化傾向も進展中で、特に奥津、富、上齋原では高齢化率が40%超となっています。



資料：国勢調査報告 社会人口問題研究所(R2以降推計値)

図 居住人口の推移



資料：国勢調査報告 社会人口問題研究所(R2以降推計値)

図 高齢化率の推移 (65歳以上)

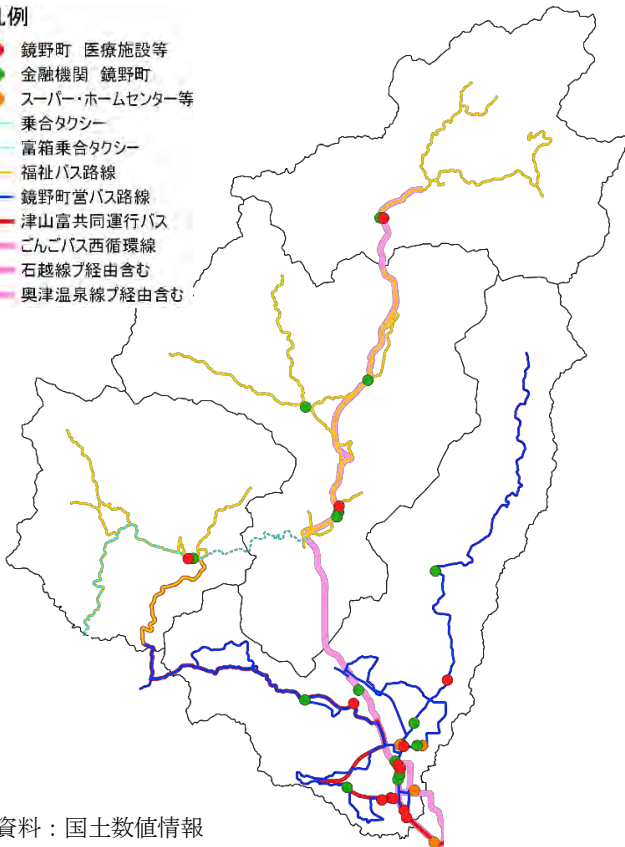
#### (2) 施設立地状況 (公共交通利用が想定される施設)

- ・生活関連施設は、旧町村の中心部にも医療施設・金融機関等が立地し、概ねバス路線でのアクセスは可能ですが、スーパー・ホームセンター等は鏡野地域にのみ立地しています。
- ・観光関連施設は、一部を除き、そのほとんどは路線バス、福祉バスの沿線に位置しています。

##### 生活関連施設

###### 凡例

- 鏡野町 医療施設等
- 金融機関 鏡野町
- スーパー・ホームセンター等
- 乗合タクシー
- 富箱乗合タクシー
- 福祉バス路線
- 鏡野町営バス路線
- 津山富共同運行バス
- ごんごバス西循環線
- 石越線ブ経由含む
- 奥津温泉線ブ経由含む



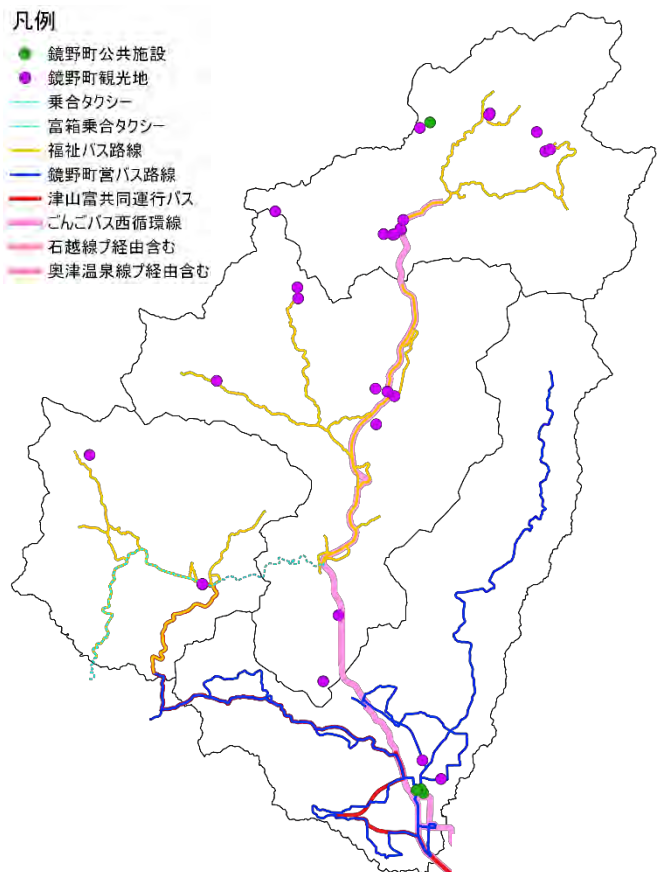
資料：国土数値情報

図 鏡野町内の主要施設立地状況

##### 観光関連施設

###### 凡例

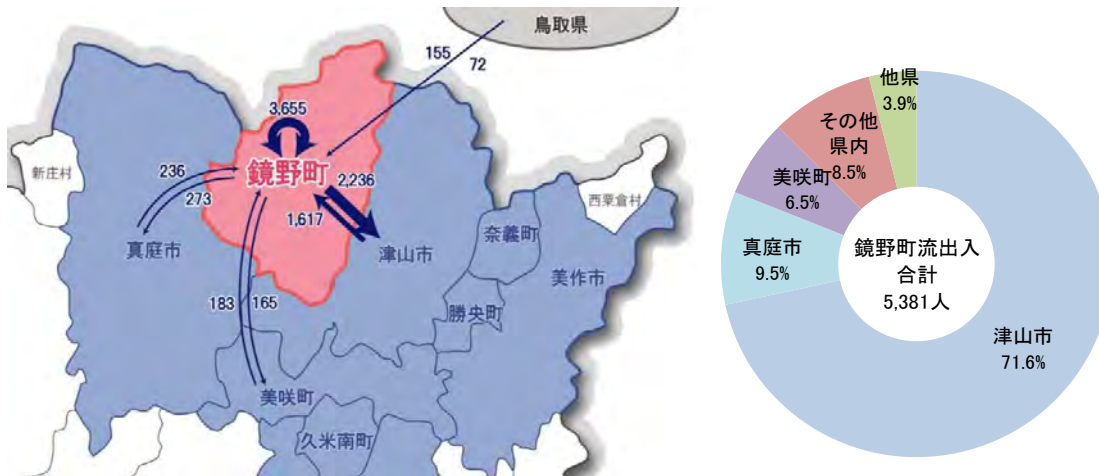
- 鏡野町公共施設
- 鏡野町観光地
- 乗合タクシー
- 富箱乗合タクシー
- 福祉バス路線
- 鏡野町営バス路線
- 津山富共同運行バス
- ごんごバス西循環線
- 石越線ブ経由含む
- 奥津温泉線ブ経由含む



## 2-2 公共交通の概況

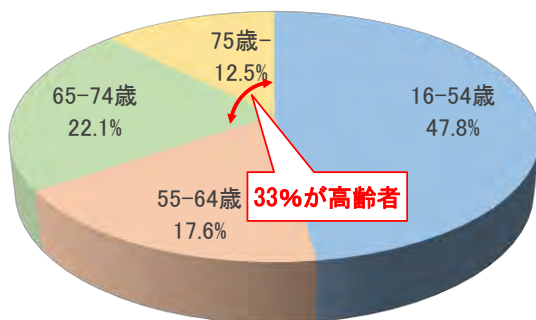
### (1) 公共交通需要の背景

- ・津山市との通勤通学流動は鏡野町関連流入の71.6%となっています。
- ・運転免許保有者も高齢化が進展、免許自主返納によるおかやま愛カード発行枚数も増加しています。
- ・おかやま愛カードの特典は、県内バス協会加入事業者の路線で、運賃5割引、期間設定がなく、県単位としては手厚い内容となっています。



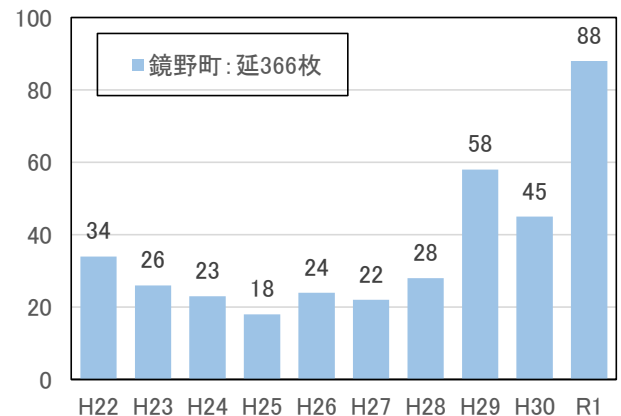
資料：平成27年国勢調査

図 周辺市町との通勤通学流動



資料：鏡野町調べ

図 年齢階層別運転免許保有率(R1)



資料：鏡野町調べ

図 おかやま愛カード発行枚数

表 免許返納者への特典の例

	バス		タクシー	
	特典	期間	特典	期間
鳥取県	日の丸自動車・日本交通：返納有無に関わらず70歳以上対象に、半年定期券(26,200円)で乗り放題	半年定期	1割引	無期限
島根県	石見交通：5割引	無期限	1割引	無期限
岡山県	バス協会加盟社：5割引	無期限	1割引	無期限
広島県	因島運輸 備北交通：5割引	無期限	1割引	無期限
山口県	和木町コミバス：無料	無期限	1割引	無期限

上記以外に、自治体により定期券購入補助、回数券給付等あり。但し、返納後1年以内、1回限り等の制約あり

資料：各県HP

## (2) 公共交通体系と需要の動向等

### 1) 公共交通体系の現状

- ・鏡野町の南北に走る国道 179 号を使った石越線・奥津温泉線と上齋原マルナカ線が交通軸を形成、これを補完する形で町営バス、福祉バスが周辺集落等を連絡しています。
- ・津山市街地へは、昼間はごんごバス西循環線、朝夕は石越線・奥津温泉線、津山富線共同バス等が連絡しています。
- ・バス停から 300m 圏域内の人口は 12,205 人で、人口の 95.8% がバス停 300m 圏域内に居住しています。地域別には、奥津、上齋原、富ではほぼ 100% となっています。

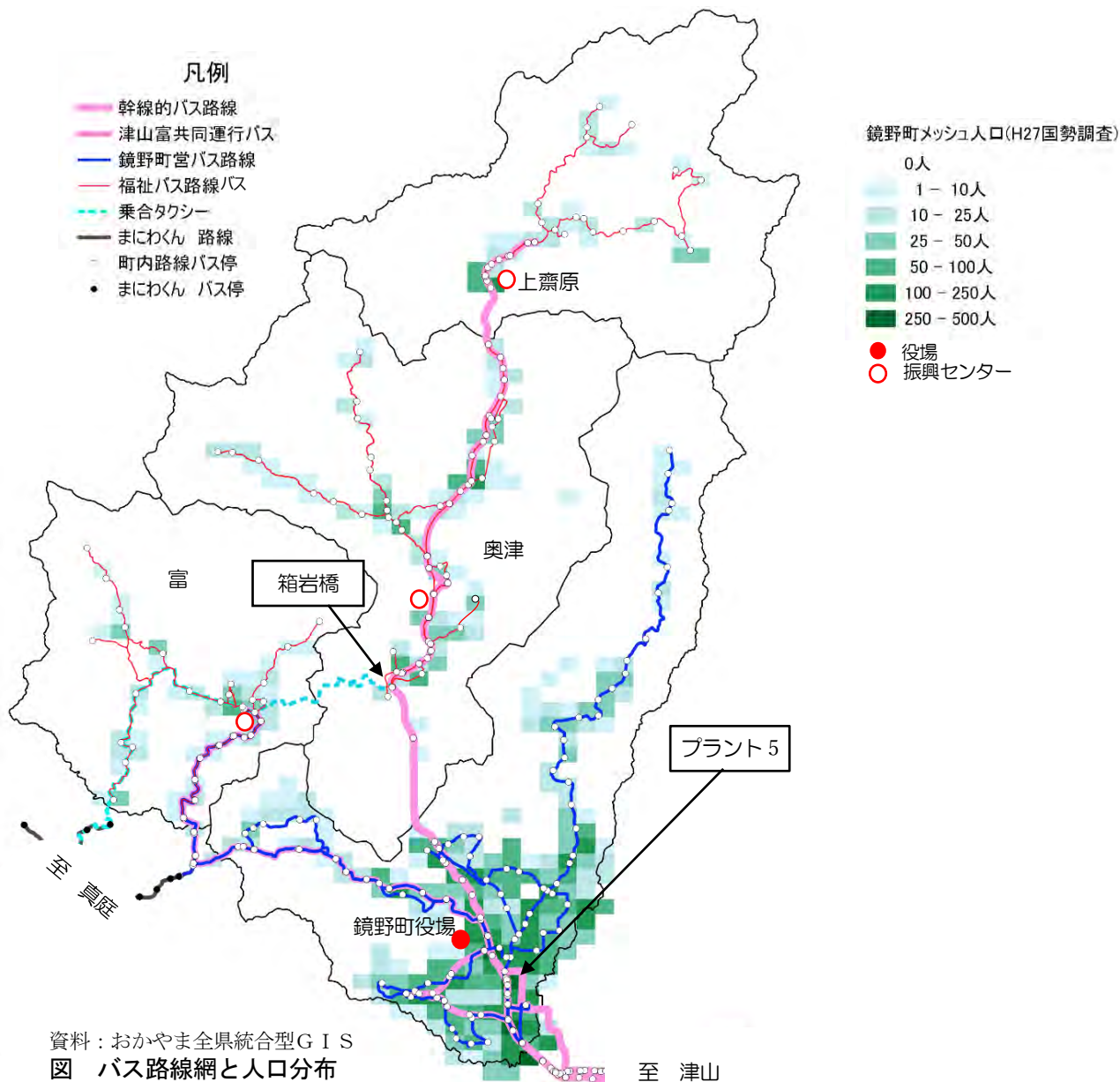


表 バス停圏カバー率

	居住人口 (a)	圏域外 居住人口 (b)	圏域内 居住人口 (c=a-b)	カバー率 (c/a)
鏡野	10,419	528	9,891	94.9%
奥津	1,231	5	1,226	99.6%
上齋原	535	0	535	100.0%
富	554	1	553	99.8%
合計	12,739	534	12,205	95.8%

【算出方法】

- ・バス停圏：他地域事例等より 300m と設定  
フリー乗降区間はバス停があるものとして試算
- ・居住人口：R2.12 月末
- ・地図上でバス停より半径 300m の円を描き、その中に該当しない人口(圏域外居住者)を計測、地域別に集計
- ・圏域内居住人口 = 居住人口 - 圏域外居住人口

以降、公共交通空白地域をバス停より半径 300m 圏域以外と定義する。なおフリー乗降区間はバス停があるものとする

資料：鏡野町調べ



- ・奥津、上齋原、富地域では合併前からの運賃無料の福祉バスを引き継ぎ、鏡野地域では福祉バスがない代わりに均一運賃の町営バスを運行しています。この結果、対キロ制、均一、無料の異なる運賃体系が混在しています。
- ・富地域と鏡野町中心部への公共交通による連絡は、デマンドタクシーで乗換えるか、隔日運行の中谷富往復線で午後に鏡野町中心部発と津山富共同バスを使って往復は可能です。
- ・バスと自動車の朝の時間帯の所要時間の比較では、一部乗り換えの不便さはあるものの、上齋原・奥津・鏡野地域は迂回が少ないこともあり、所要時間の差は10分前後ほどしかありません。

表 鏡野町内公共交通の運賃体系

区分		事業者	運賃の考え方
路線バス	奥津温泉線・石越線	中鉄北部バス	対キロ制
	ごんごバス西循環線	津山市	均一(200円)
	津山富線共同バス	津山市・鏡野町・真庭市	対キロ制
	上齋原マルナカ線	鏡野町	均一(200円)
町営バス		鏡野町	均一(200円)
福祉バス		鏡野町(直営)	無料
富乗合タクシー(やませみ号)		富タクシー	均一(500円)
デマンドタクシー(箱岩線)		富タクシー	100円

注) 津山富線共同バス、町営バスは(株)SRT への委託  
資料: 鏡野町調べ

表 中谷富往復線と共同バスを使った往復の例

路線	出発		⇒	到着	
	バス停	時刻		バス停	時刻
鏡野町営バス 中谷富往復線	プラント5	14:39	⇒	富振興センター	15:48
	富振興センター	15:48	⇒	芳野病院	16:48
津山富線共同バス	芳野病院	18:06	⇒	富振興センター	19:03

中谷富往復線は月水金運行で、始発・終点はプラント5  
資料: 鏡野町調べ

表 町内主要地点からのバスと自家用車の所要時間比較(朝の時間帯)

地域	交通手段	起点	終点	所要時間	時間差	備考
上齋原地域 (上齋原～市役所西)	バス	6:35	7:37	1:02		
	自動車	-	-	0:56	△6分	
奥津地域 (奥津振興C～市役所西)	バス	6:41	7:37	0:56		
	自動車	-	-	0:46	△10分	
富地域 (富振興C～市役所西)	バス	6:32	7:57	1:25		共同バス
	自動車	-	-	0:44	△41分	箱岩橋経由
		-	-	0:55	△30分	新森原経由
鏡野地域 (寺元～市役所西)	バス	7:15	7:57	0:42		
	自動車	-	-	0:30	△12分	

資料: バス時刻表 平成27年度道路交通センサス

【算出方法】

・バス: 時刻表より算出

・自動車:

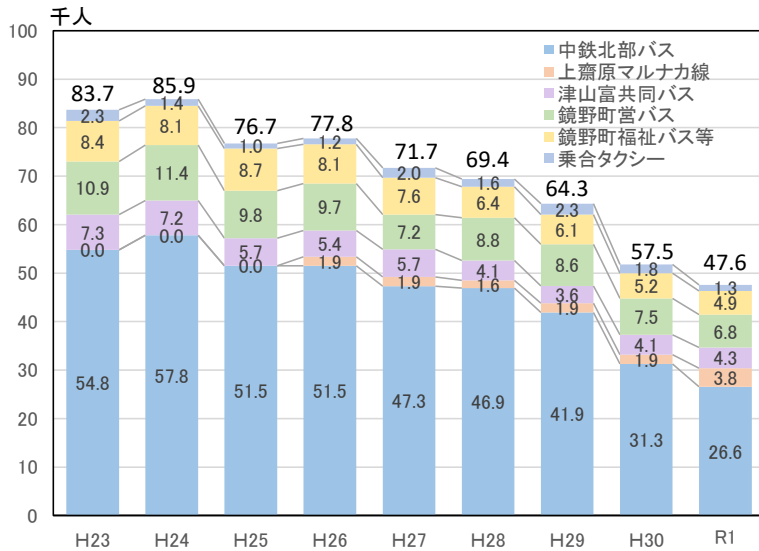
国県道はH27 道路交通センサスの朝ピーク時所要時間

市町道は近隣の国県道のH27 道路交通センサスの朝ピーク時所要時間速度を適用

※富地域の共同運行バスは迂回が大きい、自動車では迂回を考慮していない

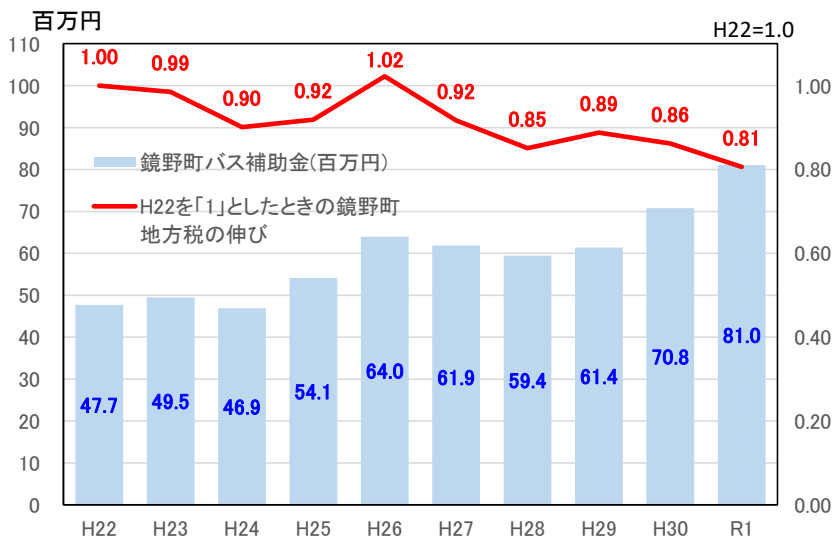
## 2) 公共交通の利用状況・補助の状況

- ・バス利用者数は、津山富共同バスと上齋原マルナカ線を除き、減少傾向が続いています。
- ・中鉄北部バス(石越線、奥津温泉線)と上齋原マルナカ線は、町内ではほぼ同じ区間であるため、令和元年度に中鉄北部バスは減便、上齋原マルナカ線は増便した結果、利用者が中鉄北部バスは減少、上齋原マルナカ線は増加しましたが、これをあわせても減少となっています。
- ・鏡野町の地方税収入は減少傾向で厳しい財政状況が続いている中で、バスへの補助金は、年々増加傾向にあります。
- ・路線別利用者1人当たりの補助金は、中鉄北部バス(石越線、奥津温泉線)を除き、上齋原マルナカ線は約4千円/人、乗合タクシーは約5千円/人となっています。



資料：鏡野町調べ

図 事業者別バス利用者数



資料：鏡野町調べ

図 地方税と公共交通補助金の推移

中鉄北部バス(奥津・石越線)

上齋原マルナカ線

津山富線共同バス

町営バス

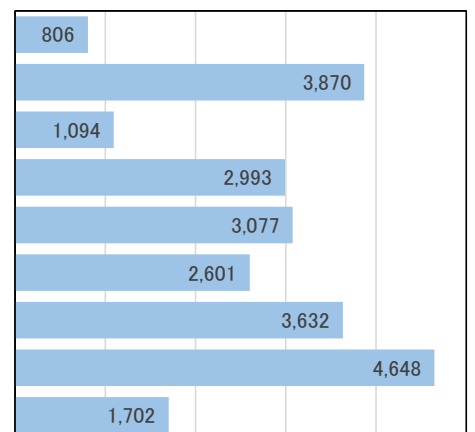
奥津地区福祉バス

上齋原循環トロリンバス

富地区福祉バス

乗合タクシー

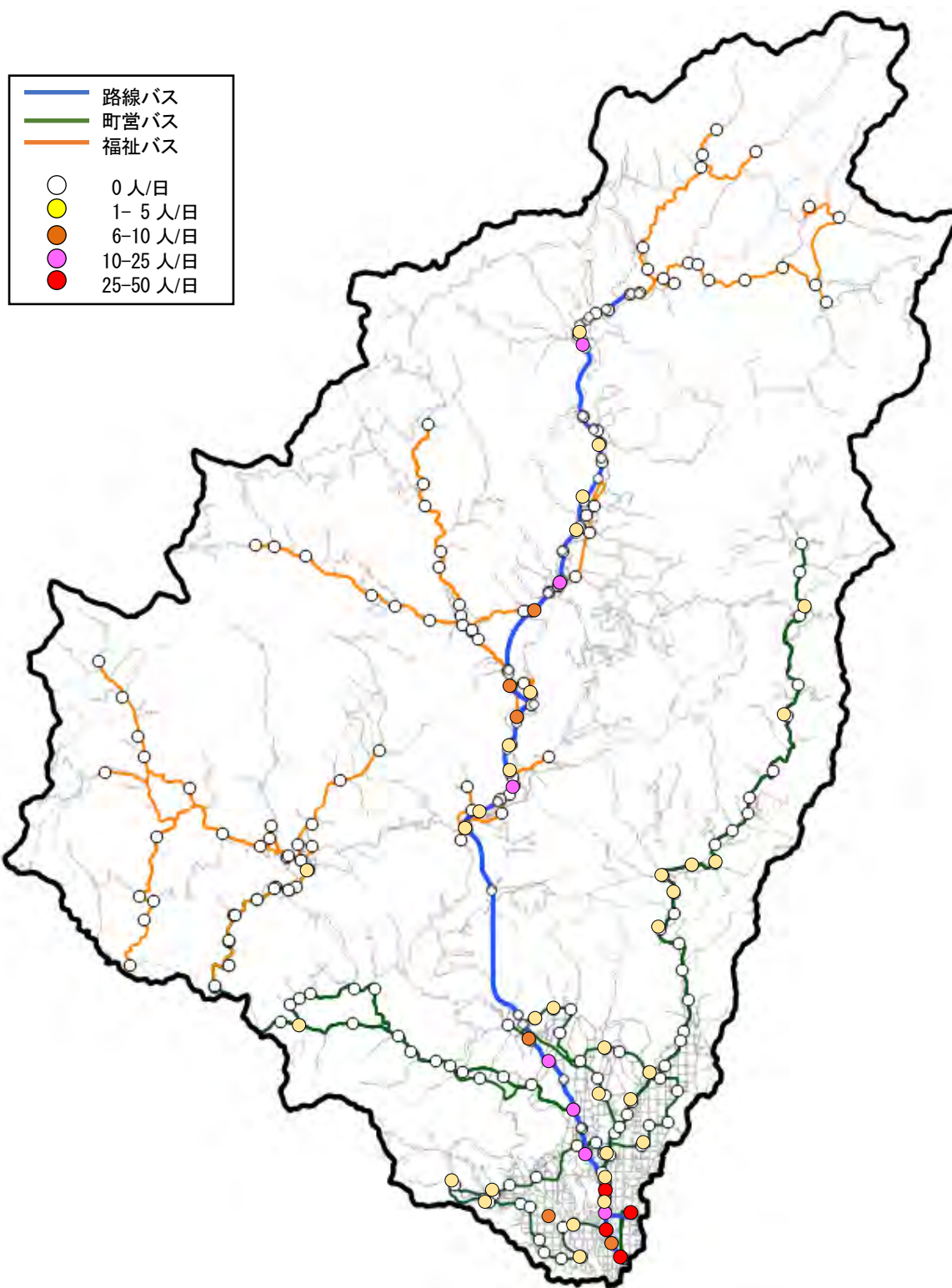
平均



資料：鏡野町調べ

6 図 路線別利用者1人当たり補助額 (R1)

- ・鏡野町内のバス停は、国道 179 号沿線の集落がある箇所に集中していますが、ほとんどのバス停の利用者は1人/日未満となっています。
- ・地元要望に対応しても利用者がいない場合が散見されます(なくなったら困るという思いで個々又は第三者を通じて要望し、行政も利用者数の推計等ができずに実施したことが要因と想定)。



R2.6月のバス停ごとの乗降調査結果  
 資料：鏡野町調べ  
 図 バス路線網とバス停利用者数 (R2)



### 3) 情報提供

- ・中鉄北部バスが運行する路線と町営バスは、事業者及び鏡野町のHPとともに「バス NAVITIME(サイト内一部有料)」でも利用可能です。福祉バスは鏡野町HPからPDFファイルで提供されています。
- ・町営バスは路線図も併記されていますが、上齋原、奥津ではバス停名と時刻のみ、富では起点の出発時刻と通過バス停のみの記載で、情報提供としては十分とはいえない状況です。



出典：鏡野町HP

図 鏡野町の公共交通案内ページ

#### 上齋原トロリンバス（福祉バス）

トロリンバス時刻表（令和2年11月1日改正）

恩原・遠藤方面					赤和瀬方面						
振興センター	7:30	8:40	11:27	13:50	16:00	振興センター	7:30	8:40	11:27	13:50	16:00
福祉センター	↓	↓	11:28	13:51	16:01	福祉センター	↓	↓	11:28	13:51	16:01
文化センター			11:30	13:53	16:03	文化センター			11:30	13:53	16:03
木路	7:31	8:41	11:31	13:54	16:04	木路	7:31	8:41	11:31	13:54	16:04
樽原	7:32	8:42	11:32	13:55	16:05	樽原	7:32	8:42	11:32	13:55	16:05
オノ神	7:33	8:43	11:33	13:56	16:06	オノ神	7:33	8:43	11:33	13:56	16:06
石越	7:34	8:44	11:34	13:57	16:07	石越	7:34	8:44	11:34	13:57	16:07
ライスセンター	7:35	8:45	11:35	13:58	16:08	天王口	7:35	8:45	11:35	13:58	16:08
釜ヶ嶋	7:36	8:46	11:36	13:59	16:09	天王	7:36	8:46	11:36	13:59	16:09
平作原	7:37	8:47	11:37	14:00	16:10	赤和瀬三叉路	7:42	8:52	11:42	14:05	16:15
豊ヶ谷	7:38	8:48	11:38	14:01	16:11	中津河	7:47	8:57	11:47	14:10	16:20
小林下	7:40	8:50	11:39	14:02	16:12	赤和瀬三叉路	7:52	9:02	11:52	14:15	16:25
小林	7:41	8:51	11:40	14:03	16:13	赤和瀬上	7:53	9:03	11:53	14:16	16:26
遠藤口	7:43	8:53				赤和瀬上	7:54	9:04	11:54	14:17	16:27
遠藤	7:44	8:54				赤和瀬上	7:54	9:04	11:54	14:17	16:27
遠藤口	7:45	8:55				老人憩の家	7:55	9:05	11:55	14:18	16:28
宮ヶ谷	7:50	9:00				赤和瀬三叉路	7:56	9:06	11:56	14:19	16:29
恩原高原	7:55	9:05	11:46	14:09	16:19	中津河	↓	↓	↓	↓	
恩原高原	8:00	9:10	11:50	14:15	16:25	赤和瀬三叉路					
宮ヶ谷	↓	↓	11:52	14:17	16:27	天王	8:02	9:12	12:02	14:25	16:35
遠藤口			11:58	14:23	16:33	天王口	8:03	9:13	12:03	14:26	16:36
遠藤			12:00	14:25	16:35	石越	8:04	9:14	12:04	14:27	16:37
遠藤口			12:01	14:26	16:36	オノ神	8:05	9:15	12:05	14:28	16:38
小林	8:04	9:14	12:03	14:28	16:38	樽原	8:06	9:16	12:06	14:29	16:39
小林下	8:05	9:15	12:04	14:29	16:39	木路	8:07	9:17	12:07	14:30	16:40
豊ヶ谷	8:06	9:16	12:05	14:30	16:40	振興センター	8:08	9:18	12:08	14:31	16:41
平作原	8:07	9:17	12:06	14:31	16:41	福祉センター	8:09	9:19	12:09	14:32	
釜ヶ嶋	8:08	9:18	12:07	14:32	16:42	文化センター	8:10	9:20	12:10	14:33	
ライスセンター	8:09	9:19	12:08	14:33	16:43	振興センター	8:12	9:22	12:12	14:35	
石越	8:10	9:20	12:09	14:34	16:44						
オノ神	8:11	9:21	12:10	14:35	16:45						
樽原	8:12	9:22	12:11	14:36	16:46						
木路	8:13	9:23	12:12	14:37	16:47						
振興センター	8:14	9:24	12:13	14:38	16:48						
福祉センター	8:15	9:25	12:14	14:39							
文化センター	8:16	9:26	12:15	14:40							
振興センター	8:18	9:28	12:17	14:42							

#### 奥津地域 福祉バス

奥津地域 福祉バス時刻表（平成29年6月1日から）

##### ◆ 羽出東谷線【毎週 月曜日】

（午前便）			（午後便）		
時刻	上り線	下り線	時刻	上り線	下り線
8:10	高瀬駅前センター	8:10	12:50	高瀬駅前センター	12:50
8:11	《 田 邊 》	8:11	12:51	高瀬駅前センター	12:51
8:40	奥津 山家前	8:40	13:20	奥津 山家前	13:20
8:41	奥津 山家前	8:41	13:21	奥津 山家前	13:21
8:43	奥津 山家前	8:43	13:23	奥津 山家前	13:23
8:44	奥津 山家前	8:44	13:24	奥津 山家前	13:24
8:45	奥津 山家前	8:45	13:25	奥津 山家前	13:25
8:46	奥津 山家前	8:46	13:26	奥津 山家前	13:26
8:47	奥津 山家前	8:47	13:27	奥津 山家前	13:27
8:48	奥津 山家前	8:48	13:28	奥津 山家前	13:28
8:49	奥津 山家前	8:49	13:29	奥津 山家前	13:29
8:50	奥津 山家前	8:50	13:30	奥津 山家前	13:30
8:51	奥津 山家前	8:51	13:31	奥津 山家前	13:31
8:52	奥津 山家前	8:52	13:32	奥津 山家前	13:32
8:53	奥津 山家前	8:53	13:33	奥津 山家前	13:33
8:54	奥津 山家前	8:54	13:34	奥津 山家前	13:34
8:55	奥津 山家前	8:55	13:35	奥津 山家前	13:35
8:56	奥津 山家前	8:56	13:36	奥津 山家前	13:36
8:57	奥津 山家前	8:57	13:37	奥津 山家前	13:37
8:58	奥津 山家前	8:58	13:38	奥津 山家前	13:38
8:59	奥津 山家前	8:59	13:39	奥津 山家前	13:39
9:00	奥津 山家前	9:00	13:40	奥津 山家前	13:40
9:01	奥津 山家前	9:01	13:41	奥津 山家前	13:41
9:02	奥津 山家前	9:02	13:42	奥津 山家前	13:42
9:03	奥津 山家前	9:03	13:43	奥津 山家前	13:43
9:04	奥津 山家前	9:04	13:44	奥津 山家前	13:44
9:05	奥津 山家前	9:05	13:45	奥津 山家前	13:45
9:06	奥津 山家前	9:06	13:46	奥津 山家前	13:46
9:07	奥津 山家前	9:07	13:47	奥津 山家前	13:47
9:08	奥津 山家前	9:08	13:48	奥津 山家前	13:48
9:09	奥津 山家前	9:09	13:49	奥津 山家前	13:49
9:10	奥津 山家前	9:10	13:50	奥津 山家前	13:50
9:11	奥津 山家前	9:11	13:51	奥津 山家前	13:51
9:12	奥津 山家前	9:12	13:52	奥津 山家前	13:52
9:13	奥津 山家前	9:13	13:53	奥津 山家前	13:53
9:14	奥津 山家前	9:14	13:54	奥津 山家前	13:54
9:15	奥津 山家前	9:15	13:55	奥津 山家前	13:55
9:16	奥津 山家前	9:16	13:56	奥津 山家前	13:56
9:17	奥津 山家前	9:17	13:57	奥津 山家前	13:57
9:18	奥津 山家前	9:18	13:58	奥津 山家前	13:58
9:19	奥津 山家前	9:19	13:59	奥津 山家前	13:59
9:20	奥津 山家前	9:20	14:00	奥津 山家前	14:00
9:21	奥津 山家前	9:21	14:01	奥津 山家前	14:01
9:22	奥津 山家前	9:22	14:02	奥津 山家前	14:02
9:23	奥津 山家前	9:23	14:03	奥津 山家前	14:03
9:24	奥津 山家前	9:24	14:04	奥津 山家前	14:04
9:25	奥津 山家前	9:25	14:05	奥津 山家前	14:05
9:26	奥津 山家前	9:26	14:06	奥津 山家前	14:06
9:27	奥津 山家前	9:27	14:07	奥津 山家前	14:07
9:28	奥津 山家前	9:28	14:08	奥津 山家前	14:08
9:29	奥津 山家前	9:29	14:09	奥津 山家前	14:09
9:30	奥津 山家前	9:30	14:10	奥津 山家前	14:10
9:31	奥津 山家前	9:31	14:11	奥津 山家前	14:11
9:32	奥津 山家前	9:32	14:12	奥津 山家前	14:12
9:33	奥津 山家前	9:33	14:13	奥津 山家前	14:13
9:34	奥津 山家前	9:34	14:14	奥津 山家前	14:14
9:35	奥津 山家前	9:35	14:15	奥津 山家前	14:15
9:36	奥津 山家前	9:36	14:16	奥津 山家前	14:16
9:37	奥津 山家前	9:37	14:17	奥津 山家前	14:17
9:38	奥津 山家前	9:38	14:18	奥津 山家前	14:18
9:39	奥津 山家前	9:39	14:19	奥津 山家前	14:19
9:40	奥津 山家前	9:40	14:20	奥津 山家前	14:20
9:41	奥津 山家前	9:41	14:21	奥津 山家前	14:21
9:42	奥津 山家前	9:42	14:22	奥津 山家前	14:22
9:43	奥津 山家前	9:43	14:23	奥津 山家前	14:23
9:44	奥津 山家前	9:44	14:24	奥津 山家前	14:24
9:45	奥津 山家前	9:45	14:25	奥津 山家前	14:25
9:46	奥津 山家前	9:46	14:26	奥津 山家前	14:26
9:47	奥津 山家前	9:47	14:27	奥津 山家前	14:27
9:48	奥津 山家前	9:48	14:28	奥津 山家前	14:28
9:49	奥津 山家前	9:49	14:29	奥津 山家前	14:29
9:50	奥津 山家前	9:50	14:30	奥津 山家前	14:30
9:51	奥津 山家前	9:51	14:31	奥津 山家前	14:31
9:52	奥津 山家前	9:52	14:32	奥津 山家前	14:32
9:53	奥津 山家前	9:53	14:33	奥津 山家前	14:33
9:54	奥津 山家前	9:54	14:34	奥津 山家前	14:34
9:55	奥津 山家前	9:55	14:35	奥津 山家前	14:35
9:56	奥津 山家前	9:56	14:36	奥津 山家前	14:36
9:57	奥津 山家前	9:57	14:37	奥津 山家前	14:37
9:58	奥津 山家前	9:58	14:38	奥津 山家前	14:38
9:59	奥津 山家前	9:59	14:39	奥津 山家前	14:39
10:00	奥津 山家前	10:00	14:40	奥津 山家前	14:40

※ 午前便の送り便で、山の神原より以北（二軒屋・奥津）の運行は、障害当事者が乗車の場合のみ運行いたします。

- ※ 午前便 石越登山行（津山中興院旅行）中鉄バス路線 9:15分（小山口）
- ※ 石越登山行（津山中興院旅行）中鉄バス路線 9:20分（女 原）
- ※ 上齋原マルノ谷行（200円バス）中鉄バス路線 9:54分（奥津センター）
- ※ 午後便 マルノ谷上齋原行（200円バス）中鉄バス路線 13:42分（奥津センター）
- ※ 津山石越登山行（津山中興院旅行）中鉄バス路線 15:59分（女 原）



鏡野町営バス

かがみの町営バス

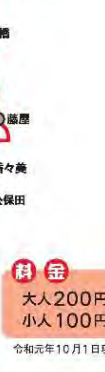
越畑線 (赤字/月・水・金運行)		中谷線 (赤字/月・水・金、青字/火・水・金運行)	
行先	時刻	行先	時刻
上	8:04	上	8:04
下	8:08	下	8:08
上	8:30	上	8:30
下	8:34	下	8:34
上	8:56	上	8:56
下	9:00	下	9:00
上	9:22	上	9:22
下	9:26	下	9:26
上	9:48	上	9:48
下	9:52	下	9:52
上	10:14	上	10:14
下	10:18	下	10:18
上	10:40	上	10:40
下	10:44	下	10:44
上	11:06	上	11:06
下	11:10	下	11:10
上	11:32	上	11:32
下	11:36	下	11:36
上	11:58	上	11:58
下	12:02	下	12:02
上	12:24	上	12:24
下	12:28	下	12:28
上	12:50	上	12:50
下	12:54	下	12:54
上	13:16	上	13:16
下	13:20	下	13:20
上	13:42	上	13:42
下	13:46	下	13:46
上	14:08	上	14:08
下	14:12	下	14:12
上	14:34	上	14:34
下	14:38	下	14:38
上	15:00	上	15:00
下	15:04	下	15:04
上	15:26	上	15:26
下	15:30	下	15:30
上	15:52	上	15:52
下	15:56	下	15:56
上	16:18	上	16:18
下	16:22	下	16:22
上	16:44	上	16:44
下	16:48	下	16:48
上	17:10	上	17:10
下	17:14	下	17:14
上	17:36	上	17:36
下	17:40	下	17:40
上	18:02	上	18:02
下	18:06	下	18:06
上	18:28	上	18:28
下	18:32	下	18:32
上	18:54	上	18:54
下	18:58	下	18:58
上	19:20	上	19:20
下	19:24	下	19:24
上	19:46	上	19:46
下	19:50	下	19:50
上	20:12	上	20:12
下	20:16	下	20:16
上	20:38	上	20:38
下	20:42	下	20:42
上	21:04	上	21:04
下	21:08	下	21:08
上	21:30	上	21:30
下	21:34	下	21:34
上	21:56	上	21:56
下	22:00	下	22:00
上	22:22	上	22:22
下	22:26	下	22:26
上	22:48	上	22:48
下	22:52	下	22:52
上	23:14	上	23:14
下	23:18	下	23:18
上	23:40	上	23:40
下	23:44	下	23:44
上	24:06	上	24:06
下	24:10	下	24:10



▲ジャコウアガハ



▲ヤマセミ



料金  
大人200円  
小人100円  
令和元年10月1日現在

●お問い合わせ先/鏡野町役場 まちづくり課 TEL 0868-64-2982

かがみの町営バス

中谷線 (赤字/月・水・金、青字/火・水・金運行)	
行先	時刻
上	8:04
下	8:08
上	8:30
下	8:34
上	8:56
下	9:00
上	9:22
下	9:26
上	9:48
下	9:52
上	10:14
下	10:18
上	10:40
下	10:44
上	11:06
下	11:10
上	11:32
下	11:36
上	11:58
下	12:02
上	12:24
下	12:28
上	12:50
下	12:54
上	13:16
下	13:20
上	13:42
下	13:46
上	14:08
下	14:12
上	14:34
下	14:38
上	15:00
下	15:04
上	15:26
下	15:30
上	15:52
下	15:56
上	16:18
下	16:22
上	16:44
下	16:48
上	17:10
下	17:14
上	17:36
下	17:40
上	18:02
下	18:06
上	18:28
下	18:32
上	18:54
下	18:58
上	19:20
下	19:24
上	19:46
下	19:50
上	20:12
下	20:16
上	20:38
下	20:42
上	21:04
下	21:08
上	21:30
下	21:34
上	21:56
下	22:00
上	22:22
下	22:26
上	22:48
下	22:52
上	23:14
下	23:18
上	23:40
下	23:44
上	24:06
下	24:10

中谷線 (赤字/月・水・金、青字/火・水・金運行)	
行先	時刻
上	8:04
下	8:08
上	8:30
下	8:34
上	8:56
下	9:00
上	9:22
下	9:26
上	9:48
下	9:52
上	10:14
下	10:18
上	10:40
下	10:44
上	11:06
下	11:10
上	11:32
下	11:36
上	11:58
下	12:02
上	12:24
下	12:28
上	12:50
下	12:54
上	13:16
下	13:20
上	13:42
下	13:46
上	14:08
下	14:12
上	14:34
下	14:38
上	15:00
下	15:04
上	15:26
下	15:30
上	15:52
下	15:56
上	16:18
下	16:22
上	16:44
下	16:48
上	17:10
下	17:14
上	17:36
下	17:40
上	18:02
下	18:06
上	18:28
下	18:32
上	18:54
下	18:58
上	19:20
下	19:24
上	19:46
下	19:50
上	20:12
下	20:16
上	20:38
下	20:42
上	21:04
下	21:08
上	21:30
下	21:34
上	21:56
下	22:00
上	22:22
下	22:26
上	22:48
下	22:52
上	23:14
下	23:18
上	23:40
下	23:44
上	24:06
下	24:10



料金  
大人200円  
小人100円  
令和元年10月1日現在

●お問い合わせ先/鏡野町役場 まちづくり課 TEL 0868-64-2982

富地域福祉バス

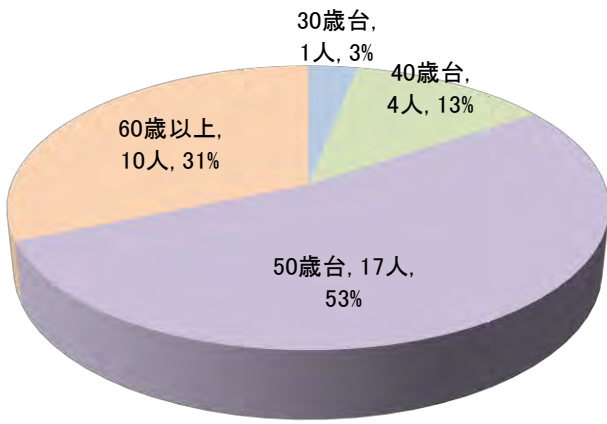
富地域福祉バス運行表

月曜日	長原 (8:45)発 ⇒ 浜高橋 谷口 梅谷 大原 渡宿 山口 出合 河内 湯原 田上良 重定 馬場 福祉センター 名越 (9:25)発 ⇒ 白賀 福祉センター
火曜日	桶 (8:45)発 ⇒ 大下 大中 大上 大倉 立尾 大仙屋敷 美の茅 仲々市 余川 篠坂 人間 小谷 福祉センター
水曜日	大上 (9:00)発 ⇒ 大倉 人間 小谷 名越 白賀 福祉センター
木曜日	長原 (8:45)発 ⇒ 浜高橋 谷口 梅谷 大原 渡宿 山口 出合 河内 湯原 田上良 重定 馬場 福祉センター
金曜日	桶 (8:45)発 ⇒ 大下 大中 大上 大倉 立尾 大仙屋敷 美の茅 仲々市 余川 篠坂 人間 小谷 福祉センター
月曜日	桶 (8:45)発 ⇒ 大下 大中 大上 大倉 立尾 大仙屋敷 美の茅 仲々市 余川 篠坂 人間 小谷 福祉センター
火曜日	長原 (8:45)発 ⇒ 浜高橋 谷口 梅谷 大原 渡宿 山口 出合 河内 湯原 田上良 重定 馬場 福祉センター
水曜日	大上 (9:00)発 ⇒ 大倉 人間 小谷 名越 白賀 福祉センター
木曜日	桶 (8:45)発 ⇒ 大下 大中 大上 大倉 立尾 大仙屋敷 美の茅 仲々市 余川 篠坂 人間 小谷 福祉センター
金曜日	長原 (8:45)発 ⇒ 浜高橋 谷口 梅谷 大原 渡宿 山口 出合 河内 湯原 田上良 重定 馬場 福祉センター 名越 (9:25)発 ⇒ 白賀 福祉センター

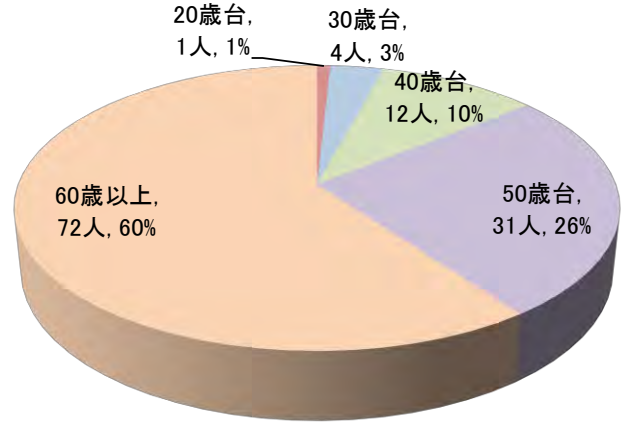
◎ 送りは、11:00 福祉センター発 旧農協(とみの里)経由で運行します。  
◎ 送り便のみの利用者は、11:00に福祉センターで乗車してください。利用者が無い場合は、運行しません。  
◎ 第1週目が前月とまたがるとは、1週目に限り運行日程とします。 問い合わせ先 富振興センター 57-2111

### (3) その他公共交通を取り巻く環境

- ・公共交通の担い手としてのバス、タクシー運転手も高齢化しています。
- ・他地域ではIoTやAIを活用した利便性向上策や交通事業者の負担軽減施策の開発が進行中です。



資料：津山・鏡野間バス連携事業調査・検討業務  
図 津山支部内バス乗務員の年齢構成 (H28)



資料：津山・鏡野間バス連携事業調査・検討業務  
図 津山支部内タクシー乗務員の年齢構成 (H28)



資料：官邸HP  
図 道の駅を活用した自動運転バスイメージ



資料：国土交通省HP  
図 スマホを活用したMa a Sイメージ



資料：事務局資料  
図 即時情報提供機能を有するスマートバス停



## 3-1 住民アンケート調査

### (1) 調査概要

通勤通学や通院、買物等の日常生活における移動実態及びニーズ、公共交通の利用実態や改善要望等を把握するため、住民アンケート調査を実施しました。

表 住民アンケート調査の概要

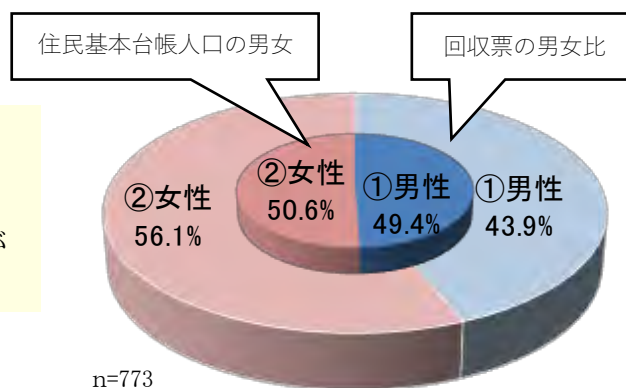
調査対象	鏡野町民 2,000 人(年齢階層比を考慮した住民基本台帳による無作為抽出)
調査方法	郵送による配付回収(抽出者とその家族 1 名分の調査票を配付)
調査期間	令和 2 年 12 月上旬
回収状況	回収世帯数 : 501 世帯(回収率 25.1%) 回収票数 : 773 票(抽出率 7.6%)

### (2) 主な調査結果

#### 1) 回答者の属性

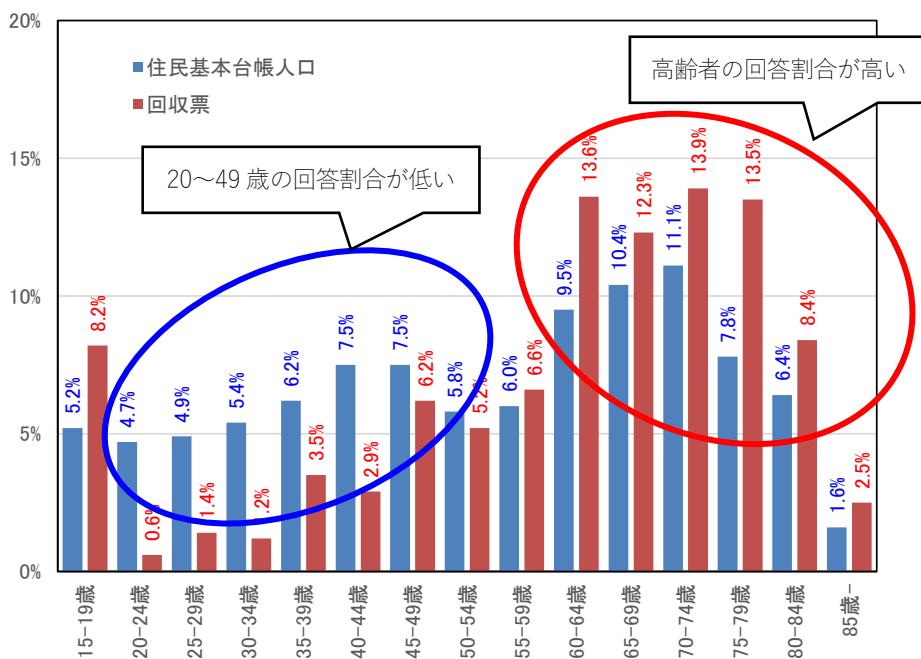
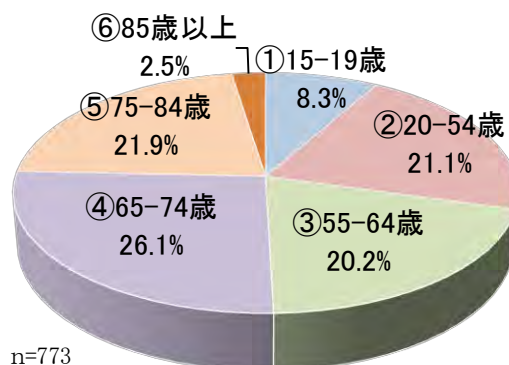
##### 【性別】

- ・回答者の性別では①男性が 43.9%、②女性が 56.1%となっています。
- ・住民基本台帳と比べると、回答者は女性の比率が高くなっています。



##### 【年齢構成】

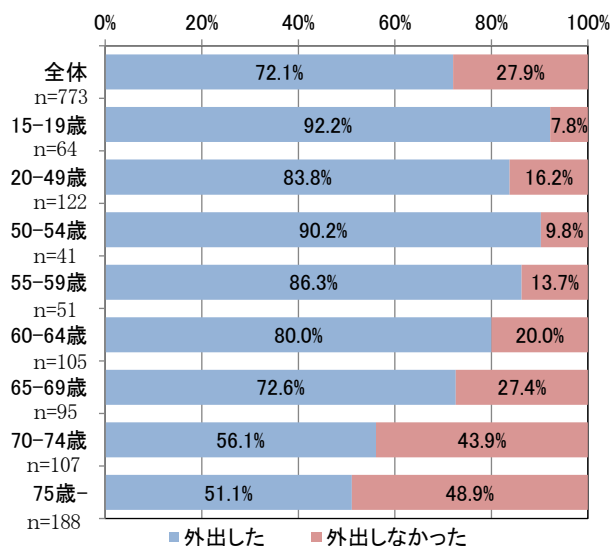
- ・回答者の年齢構成は、④65-74 歳が 26.1%で最も多く、次いで⑤75-84 歳の 21.9%となっています。
- ・住民基本台帳の人口構成比と比べると、回答者は高齢者の割合が高い一方で、20~49 歳の回答率が低くなっています。



## 2) 外出の状況(調査基準日の令和2年12月9日(水)の状況)

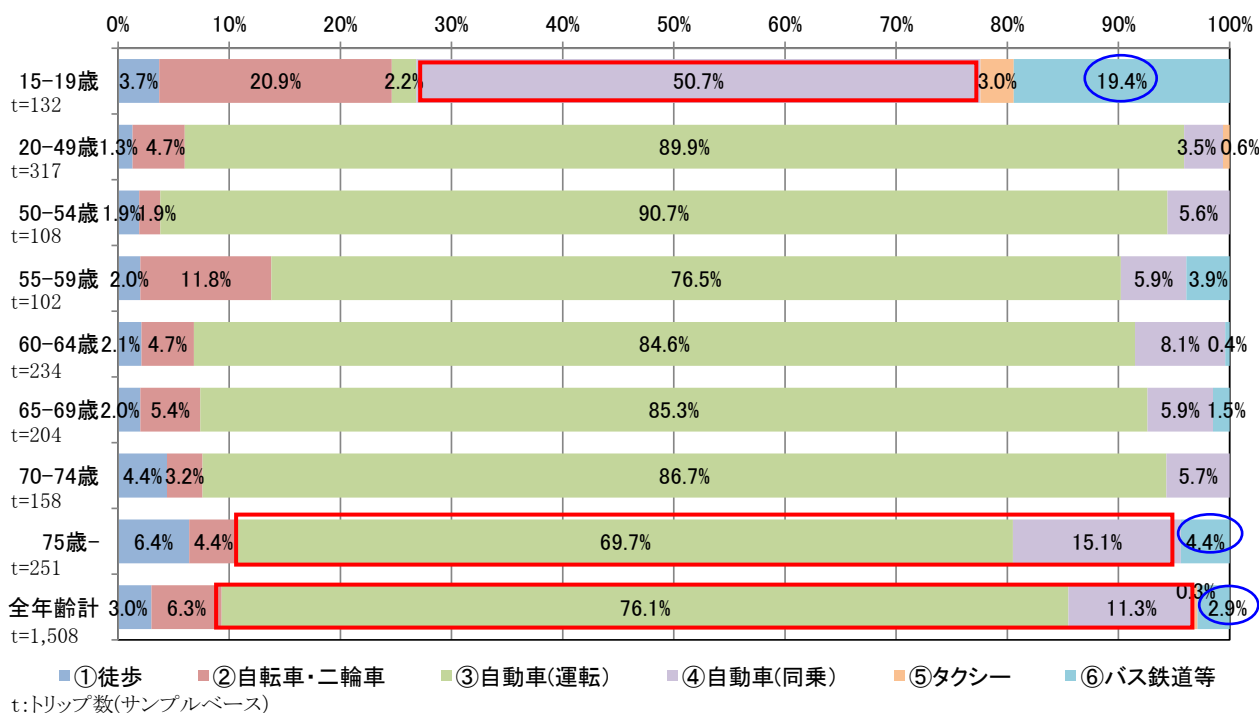
### 【外出の有無】

- ・回答者全体の外出率は72.1%となっています。
- ・総じて年齢が上がるにつれて外出率は低くなり、65～69歳の72.6%に対し、70-74歳では56.1%、75歳以上では51.1%と低下しています。



### 【外出手段】

- ・鏡野町全体での外出時の交通手段は③自動車(運転)が76.1%、④自動車(同乗)が11.3%、あわせて約9割となっている。⑥バス鉄道は2.9%に留まっています。
- ・15-19歳では④自動車(同乗)が50.7%で最も多く、通学は、家族等による送迎が想定され、その割合が②自転車・二輪車や⑥バス鉄道等と比べても突出しています。
- ・75歳以上では③自動車(運転)は約7割まで減少、④自動車(同乗)が15.1%まで増加していますが、⑥バス鉄道は、約4%に留まっています。

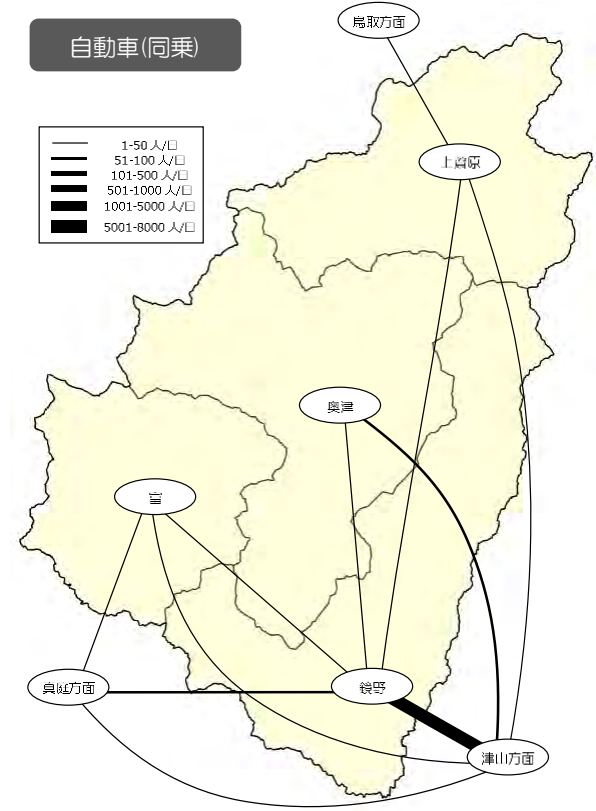
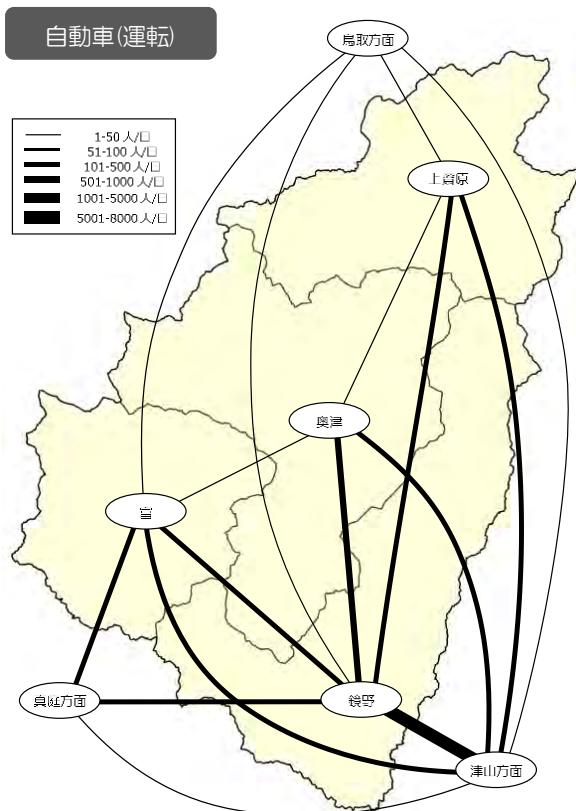
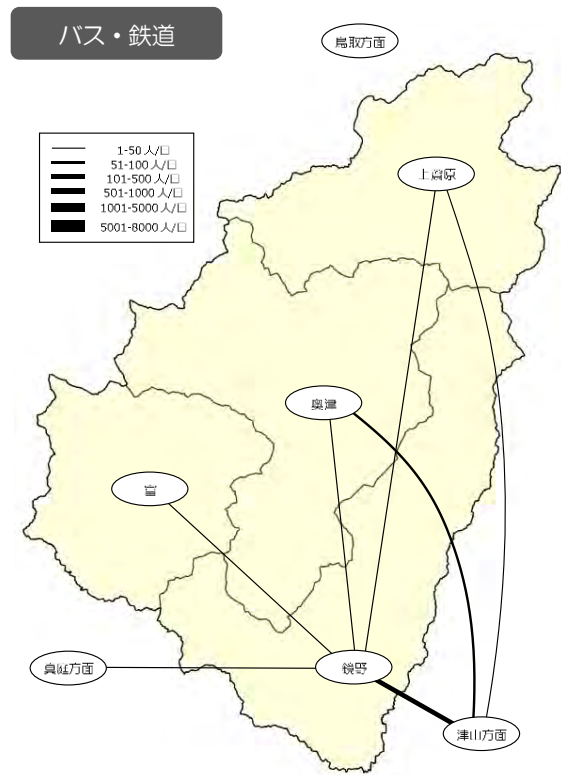
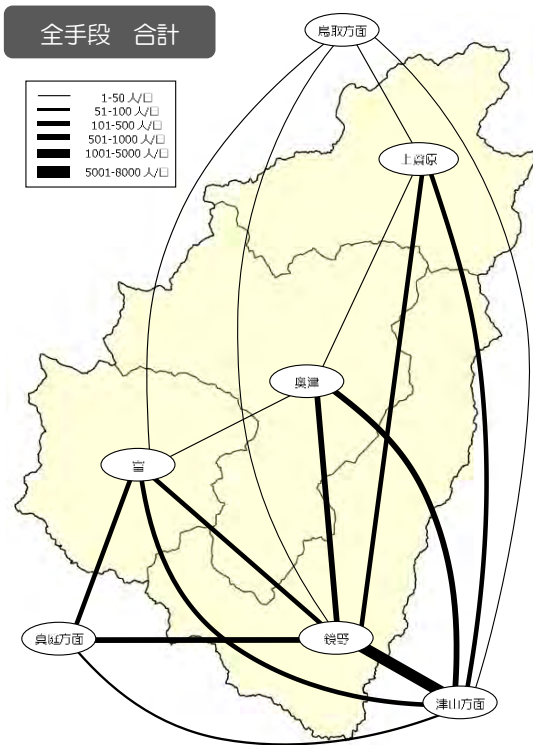




## 【地域間流動】

- 全手段の合計では津山方面を中心とした流動、鏡野町内では鏡野と旧町村との結びつきが主です。真庭方面は富や鏡野との流動も見られます。
- バスでも利用者数は大きく劣りますが、津山方面と鏡野への流動、旧町村の周辺地域から津山方面、鏡野へ集まる流動が主です。

注) ここでは、移動の総量を把握するため、年齢階層別に拡大処理を行い、集計した結果を示している。



## 【よく利用する施設】

- ・買物施設では町内いずれの地域もプラント5が第1位となっている。鏡野、奥津、上齋原は町内の施設または津山市内が上位に入っています。富では、町内の施設に加え真庭市内の施設が2位、5位に入っており、買物交通の方向が異なっていることが伺えます。

表 買物施設

順位	鏡野	奥津	上齋原	富
1	プラント5	プラント5	プラント5	プラント5
2	マルナカ院庄店	ハピーズ鏡野店	マルナカ院庄店	ゆめタウン久世店※
3	ハピーズ鏡野店	マルイ院庄店	マルイ院庄店	マルイ院庄店
4	マルイ院庄店	マルナカ院庄店	ラ・ムー津山店	マルナカ院庄店
5	コメリ鏡野店	コメリ鏡野店	ハピーズ鏡野店	ダイレックス久世店※
6	ザグザグ院庄店	算出方法 よく行く買い物施設とその施設の利用頻度の回答から、1日当りに変換し、鏡野、奥津では、10人/日以上、上齋原、富では5人/日程度以上が利用すると想定される施設を記載。 注) 但しコンビニエンスストアは除く。 (“コンビニ”との回答が多く店舗名が明確にできないため) ”ウエストランド”は改装中のため、回答は”マルイ院庄店”として合わせて集計した。		
7	ザ・ビッグ			
8	イオン津山店			
9	山陽ホームズ			
10	J A 鏡野店			
11	ゆめmart津山			
12	ラ・ムー津山店			
13	夢広場			
14	ナンバ院庄店			
15	コスモス			

- ・医療福祉施設では、いずれの地域においても鏡野町内の病院が1位となっています。富では、真庭市内の施設が上位に入っており、買物施設、医療福祉施設などの生活交通が他地域と異なり、真庭市内にも多いという地域特性があることが伺えます。

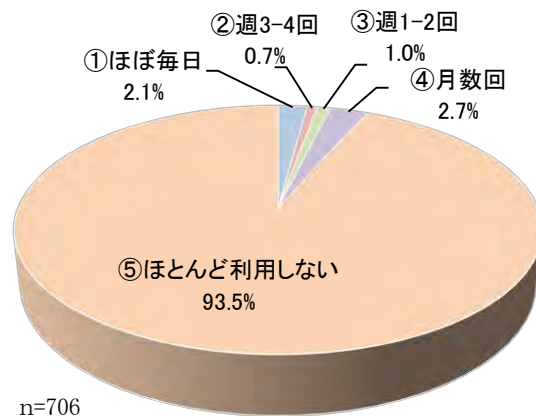
表 医療福祉施設

順位	鏡野	奥津	上齋原	富
1	鏡野病院	鏡野病院	芳野病院	鏡野病院
2	山田医院	津山中央病院	鏡野病院	まつら医院※
3	津山中央病院	中島病院	上齋原診療所	金田病院※
4	芳野病院	芳野病院	津山中央病院	津山中央病院
5	西村眼科	津山第一病院	みやおか接骨院	富診療所
6	石川歯科	西村眼科	/	中山病院※
7	川崎医大付属病院	奥津診療所		※真庭市内
8	水田医院	角田医院		
9	積善病院	山田医院		
10	津山クリニック	吉弘クリニック		
11	津山第一病院	小畑内科		
12	中島病院			
13	中尾内科クリニック	算出方法 よく行く医療施設とその施設の利用頻度の回答から、1日当りに変換し、鏡野、10人/日以上、奥津、上齋原、富では3人/日程度以上が利用すると想定される施設を記載。		
14	日本原病院			
15	いちば医院			
16	薄元医院			
17	藤本医院			

### 3) バスの利用状況とバスへの意識

#### 【バスの利用頻度】

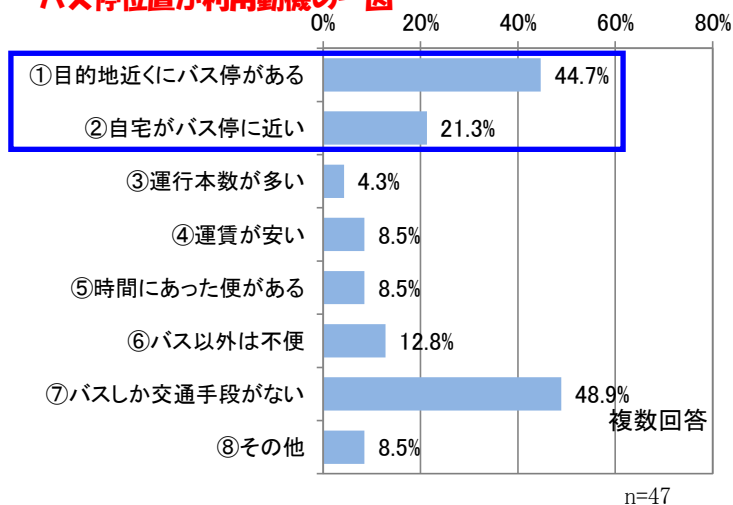
- ・⑤ほとんど利用しないという回答が9割を超え、バスを月に数回以上利用する方は5%に満たない状況です。



#### 【バスを利用する理由】

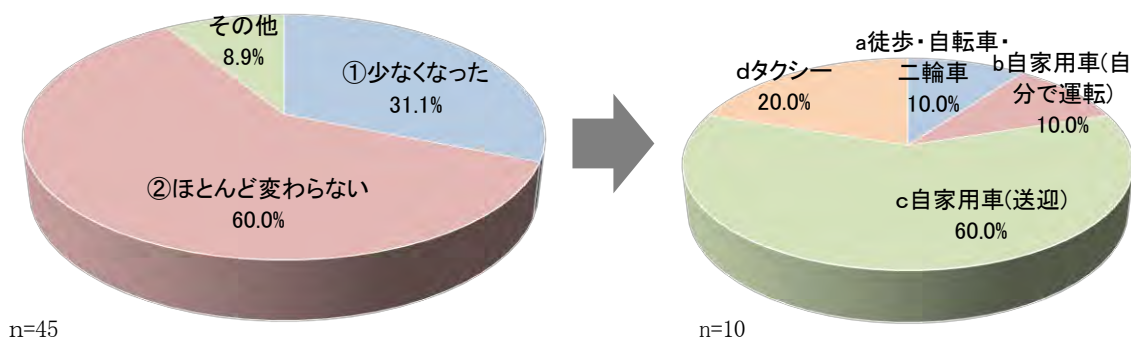
- ・⑦バスしか交通手段がないが48.9%で最も多くなっています。
- ・①、②は第2位、3位で、バス停位置が利用の動機の1つとなっていることが伺えます。

#### バス停位置が利用動機の一因



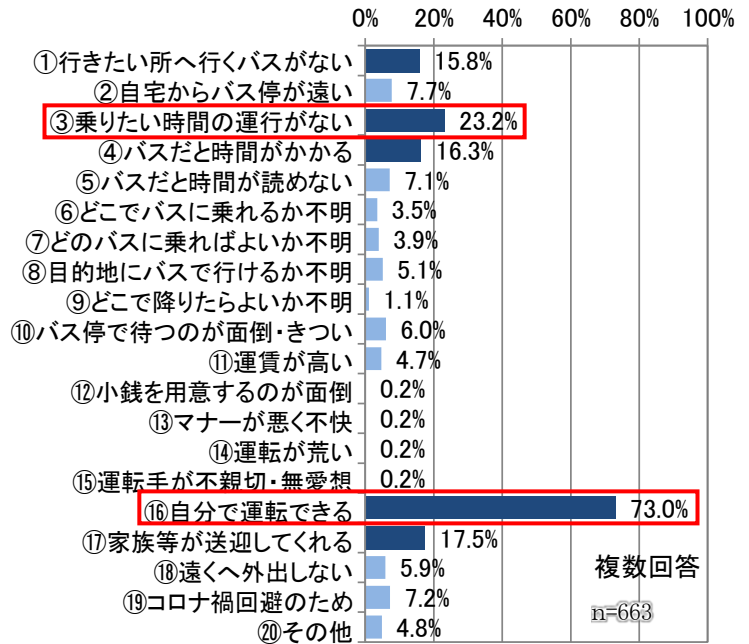
#### 【コロナ禍によるバス利用の変化】

- ・バス利用者のうち、約3割がコロナ禍によりバス利用が減少したとの回答で、バスからの転換は、a. 自家用車（送迎）が6割で最も多く、次いでd. タクシーが2割となっています。

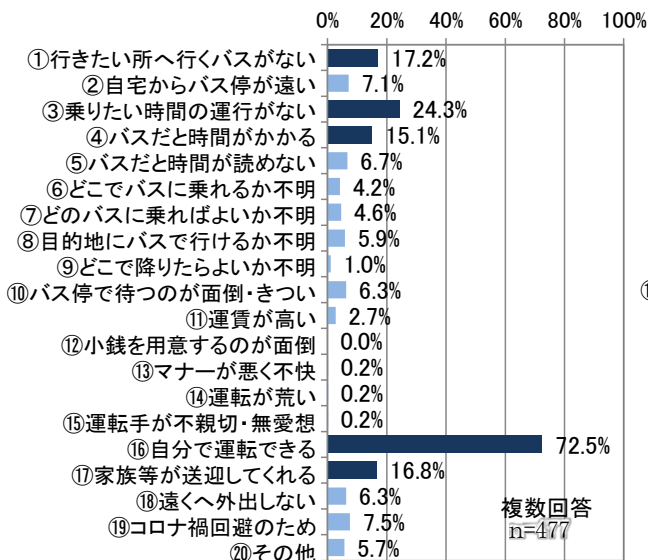


### 【バスを利用しない理由】

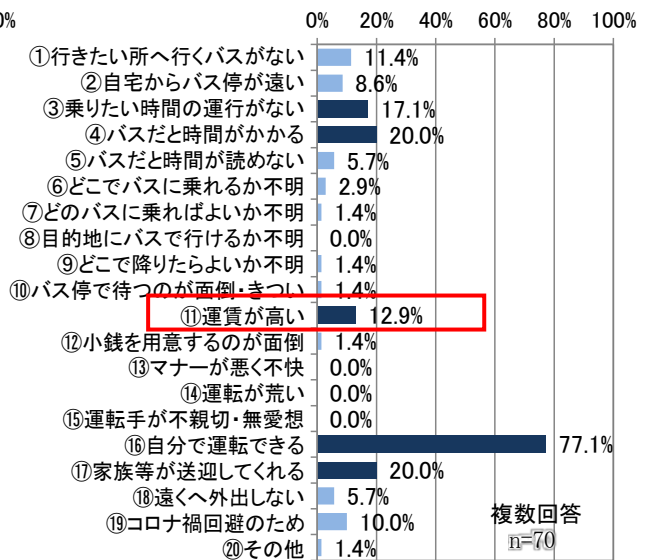
- ・⑩自分で運転できる が最も多く 73.0%と突出しています。次いで③乗りたい時間の運行がない が 23.2%となっています。
- ・各地域の上位 5 位までをみると、奥津、上齋原で⑩運賃が高い が入っています。
- ・富では、③乗りたい時間の運行がないが 21.7%、①行きたい所へ行くバスがないが 6.7%で、奥津、上齋原地域と比べて高くなっています。



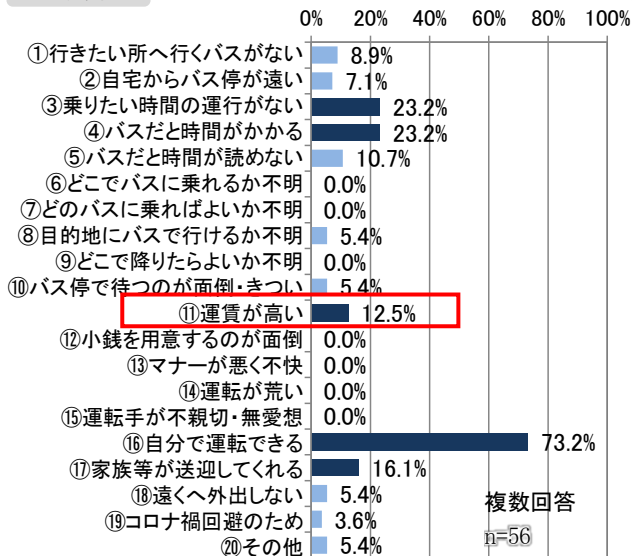
### 鏡野



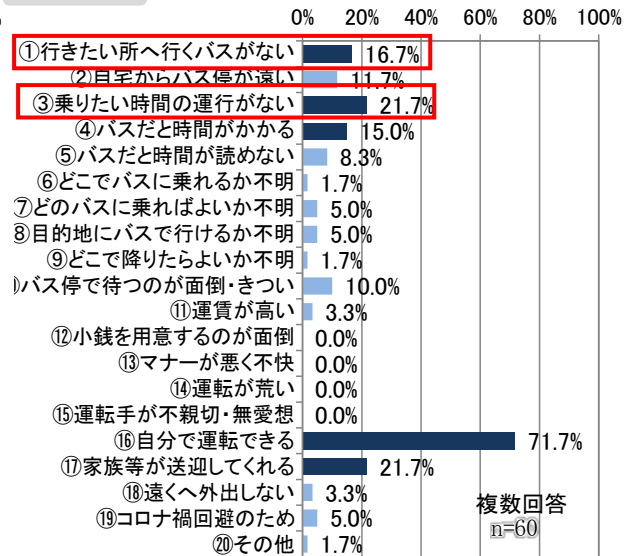
### 奥津



### 上齋原



### 富

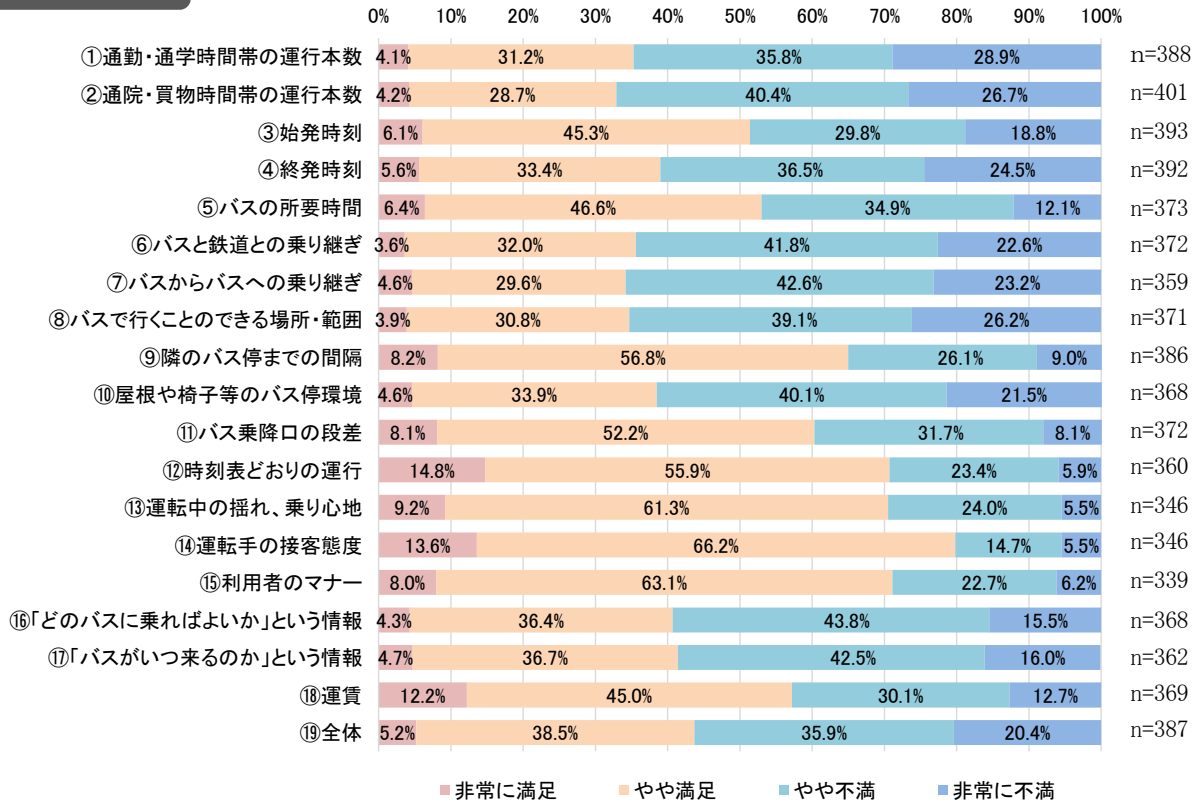




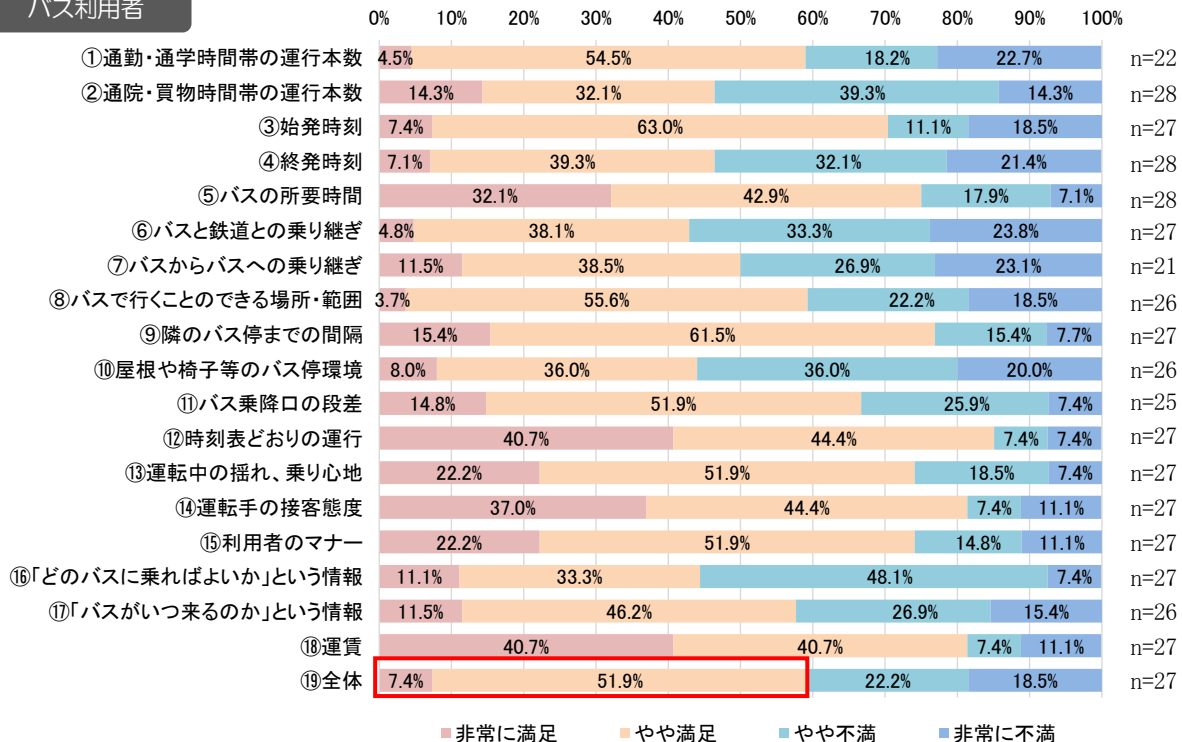
## 【バスに対する満足度】

- ・⑫～⑭の運行状況に関しては満足度が高いものの、①②などの運行本数、④⑥⑦のダイヤ、⑧のバス網、⑩のバス停環境、⑯⑰の情報提供等について、不満度が高い傾向にあります。
- ・バス利用者に限ってみれば、不満度が50%を超えている項目は②④⑥⑦⑩⑯となっており、実際に利用している方とそうでない方との違いがあると想定されます。

### 鏡野町全体



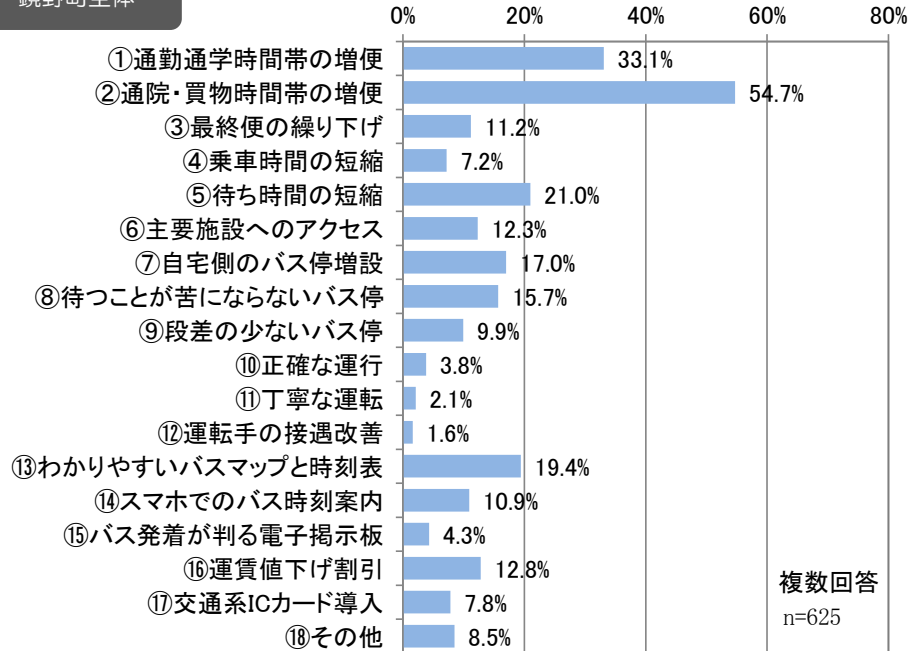
### バス利用者



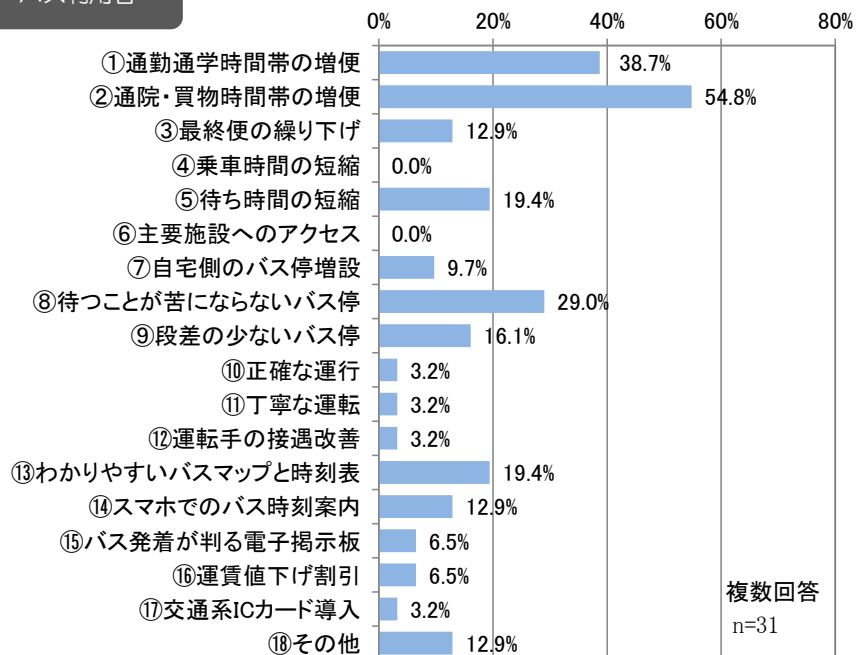
## 【バスの改善点】

- ・ ②通院・買物時間帯の増便の要望が最も多く、次いで①通勤・通学時間帯の増便となっています。
- ・ バス利用者でも①、②に対する要望が高い傾向は同じですが、加えて⑧待つことが苦にならないバス停との要望も比較的高い状況です。

### 鏡野町全体

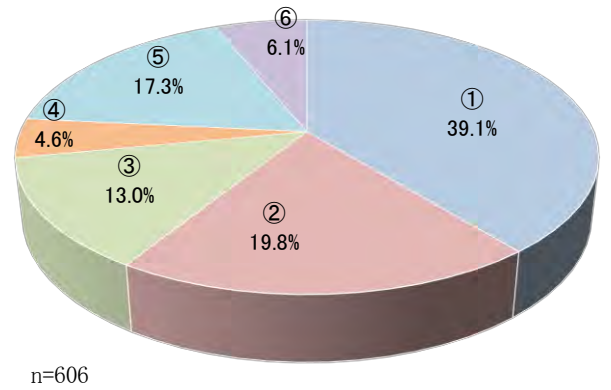


### バス利用者

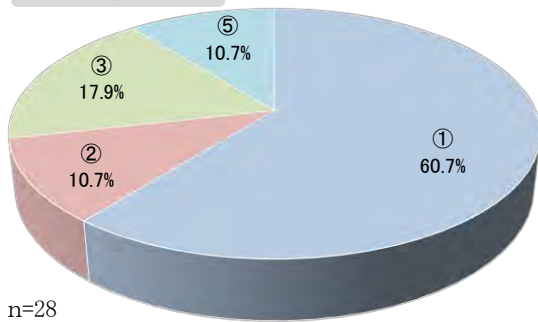


## 【バス運賃の公平性】

- ・①現状のままでよいが最も多く 39.1%、次いで②の 19.8%、⑤の 17.3%となっています。
- ・バス利用者に限れば、①現状のままで良いが最も多く 6割を占め、現状の運賃（福祉バスの無料も含め）の満足度が高いことが要因のひとつと想定されます。
- ・地域別に見ても、①現状のままでよいがいずれの地域においても最も多くなっていますが、②200円均一運賃についても鏡野・奥津で高く2割を超え、全体では2番目となっています。

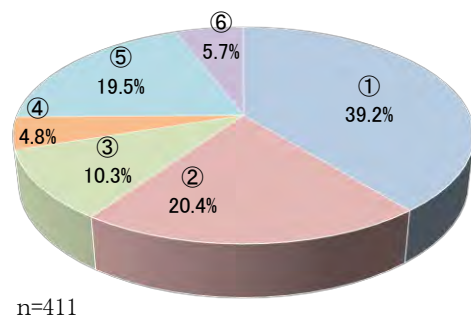


### バス利用者

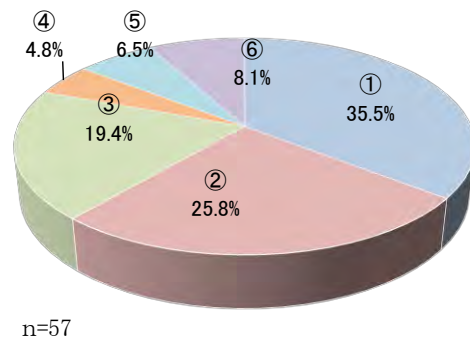


- ①現状のままでよい
- ②200円均一
- ③高い路線バスと安い上齋原マルナカ線と福祉バスのゾーン運賃制
- ④安い上齋原マルナカ線と福祉バスへ距離制導入
- ⑤距離制導入と割引や上限運賃とのセット
- ⑥その他

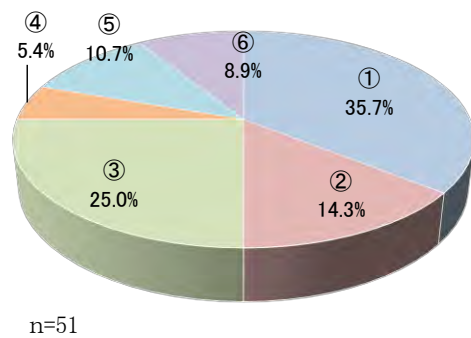
### 鏡野



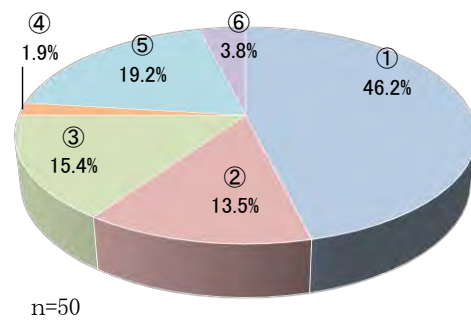
### 奥津



### 上齋原

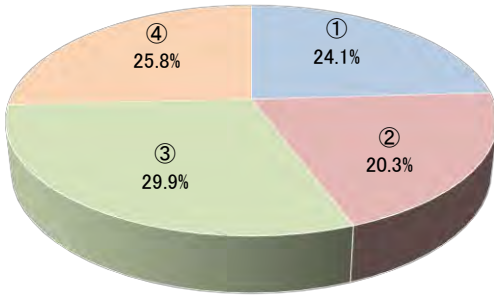


### 富

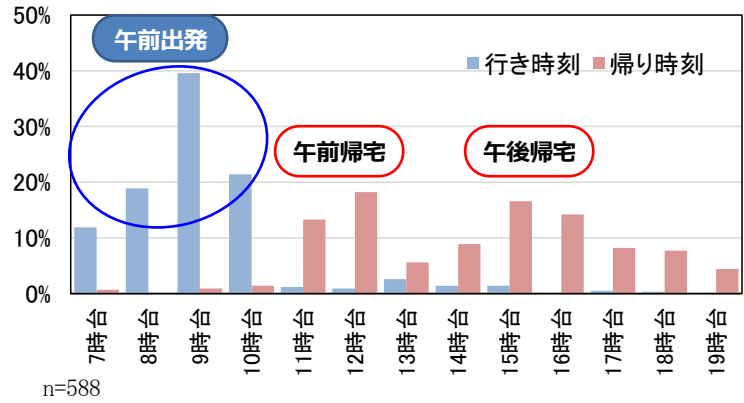


## 【新たな公共交通の条件】

- ・新たな公共交通の条件は、③が29.9%と最も多くなっていますが、他の条件と比べると大きな開きはありません。
- ・地域別にみると、奥津、上齋原、富では、③が最も多くなっており、現状では500円以上の運賃が必要となっている地域であることが要因の1つと想定されます。
- ・時間帯については、行き時刻は午前集中していますが、帰り時刻は、11,12時台と15,16時台に分散しており、午前出発-午前帰宅と、午前出発-午後帰宅の2つの行動パターンが想定されます。



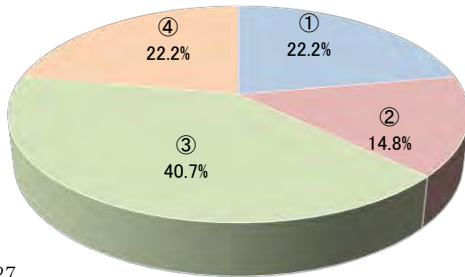
n=636



n=588

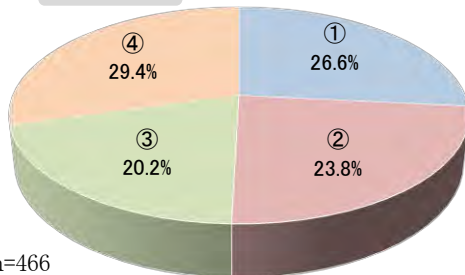
- ①予約制で、希望の時間帯に、利用者の自宅を巡回しながら、タクシーの半額程度の運賃で、町内はどこへでも行ける
- ②予約制で、希望の時間帯に、利用者の自宅を巡回しながら、タクシーの1/3程度の運賃で、旧町村内に限り行ける
- ③予約不要で、決まった時刻に、近くの集会場などで乗車し500円程度の運賃で、町内はどこへでも行ける
- ④予約不要で、決まった時刻に、近くの集会場などで乗車し200円程度の運賃で、旧町村内に限り行ける

### バス利用者



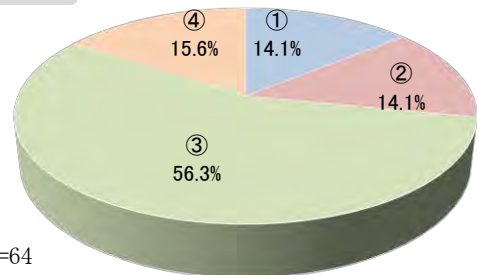
n=27

#### 鏡野



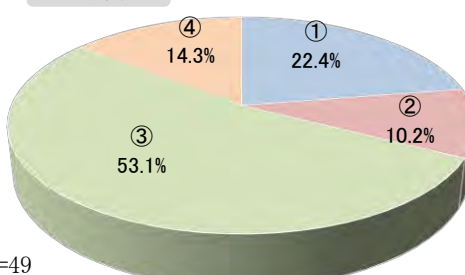
n=466

#### 奥津



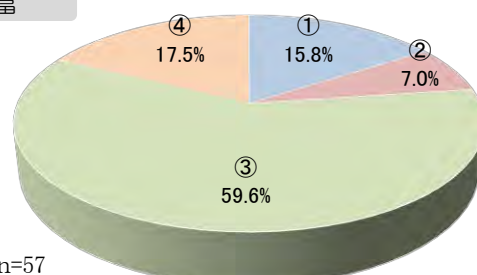
n=64

#### 上齋原



n=49

#### 富

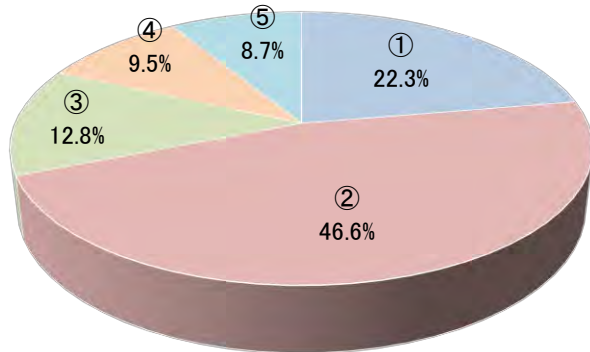


n=57



### 【今後の取り組みの方向性】

- ・今後の取り組み方針では②が最も多く、次いで①となっており、ともに町の負担増を容認、または負担増を求める意見が7割弱となっています。
- ・一方で、財政負担を一定にとどめ、運賃の値上げや利便性低下を容認する意見も2割強は見られます。



- ①町の負担を増やして今以上に利便性向上
- ②現状を維持し町の負担増はやむなし
- ③町の負担は一定に留め、利便性低下もやむなし
- ④町の負担を軽減し運賃値上げ、利便性は現状維持
- ⑤その他

n=618

### 3-2 バス利用者アンケート調査

バス利用者の利用実態及びニーズ、公共交通の利用実態や改善要望等を把握するため、バス利用者アンケート調査を実施しました。

表 バス利用者アンケート調査の概要

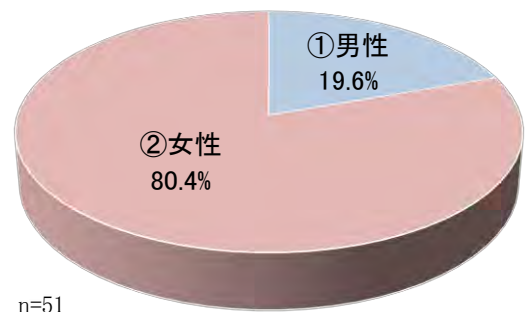
調査対象	鏡野町内を運行するバス路線の利用者
調査方法	運転手による配付 郵送による回収 162 票を配付
調査期間	令和2年12月上旬
回収状況	回収票数：59票(回収率36.4%)

※通勤通学や定期的な通院利用などのヘビーユーザーなど利用者は限定的であり、一度配布した方には、重複しないように配付者（運転手）には依頼している。  
このため、ここでの集計は拡大処理をせず、サンプルそのままの集計値である。

#### 1) 回答者の属性

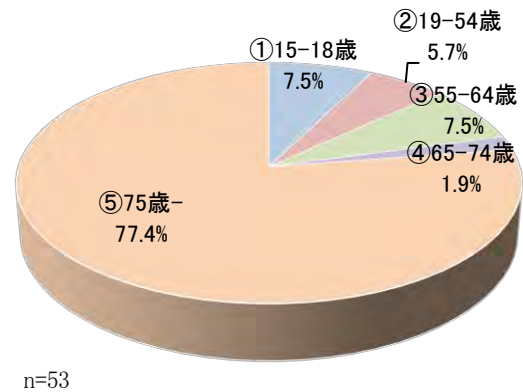
##### 【性別】

- ・回答者は②女性の割合が高く、80.4%となっています。



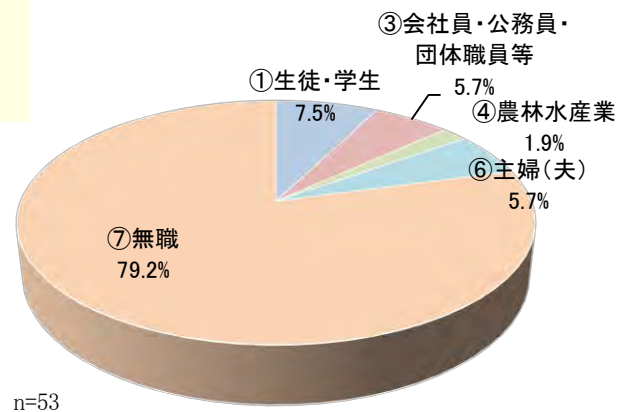
##### 【年齢構成】

- ・回答者の年齢構成は、⑤75歳以上が最も多く77.4%、次いで①15-18歳、③55-64歳の7.5%となっています。



##### 【職業】

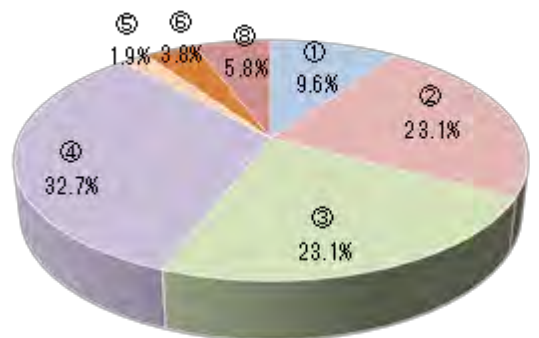
- ・回答者の職業は、⑦無職の割合が79.2%で最も多く、次いで①生徒・学生の7.5%となっています。



## 2) バスの利用状況

### 【バスの利用頻度】

- ・④月に2.3回が32.7%で最も多く、次いで②週に2~3回、③週に1回の23.1%となっています。
- ・週に1回以上の利用者は合わせると半数以上を占めます。

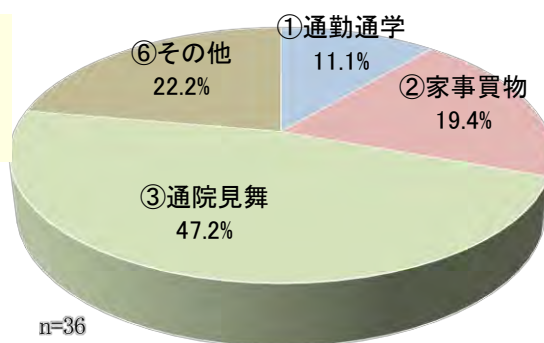


n=52

- ① ほぼ平日毎日
- ② 週に2-3回
- ③ 週に1回
- ④ 月に2.3回
- ⑤ 月に1回
- ⑥ 年に数回
- ⑦ 年に1.2回
- ⑧ ほとんど使わない

### 【バスの利用目的】

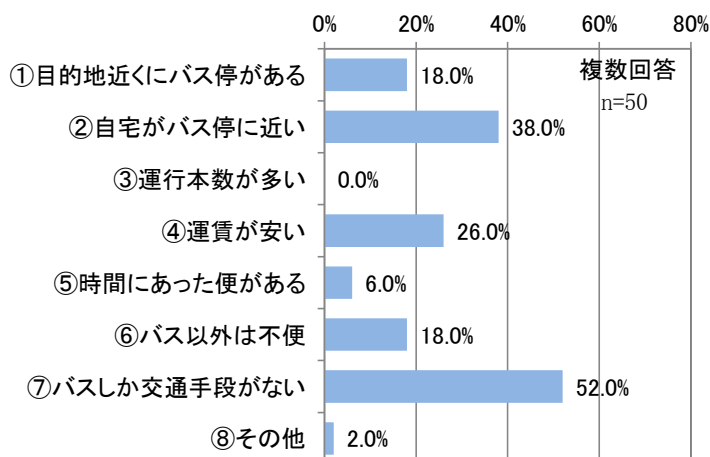
- ・③通院見舞が47.2%で最も多く、⑥その他を除くと②家事買物の19.4%が次いで多くなっています。



n=36

### 【バスを利用する理由】

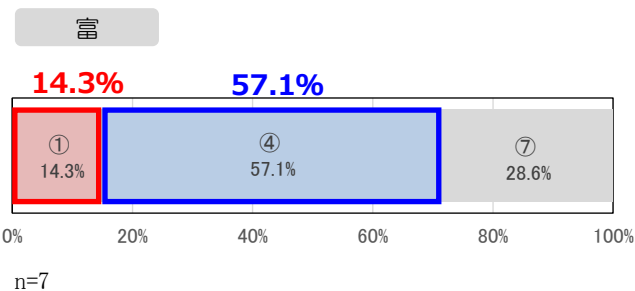
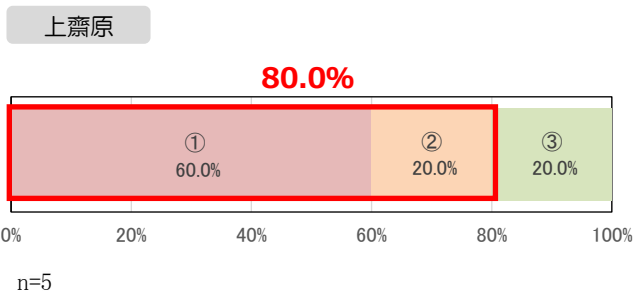
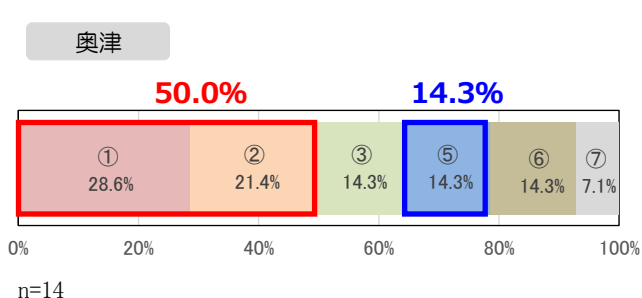
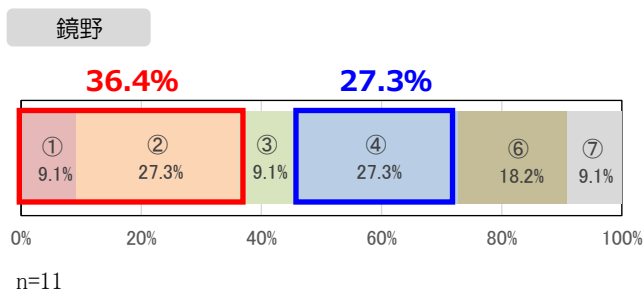
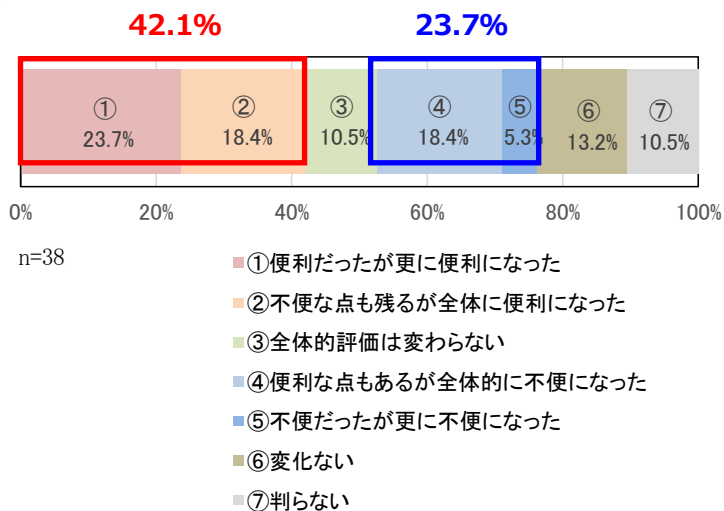
- ・⑦バスしか交通手段がないが半数以上を占め、次いで②自宅がバス停に近いが約4割となっています。



### 3) 路線バス・町営バスのみなおし (R1.10月) について

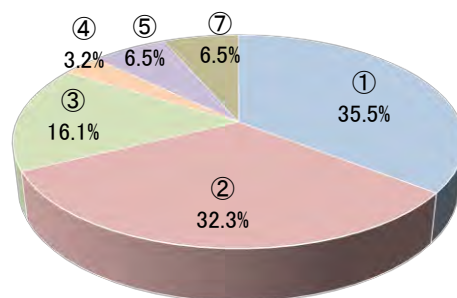
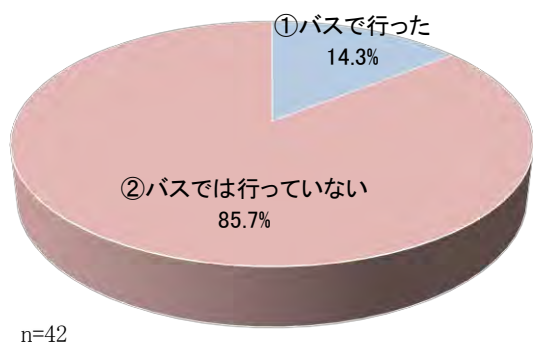
#### 【見直しに対する評価】

- ・便利になったとの意見が42.1%、不便になったとの意見が23.7%で、見直しに対して、肯定的な意見が上回っています。
- ・地域別に見ると、上齋原マルナカ線が増便された奥津、上齋原では肯定的な意見が多数を占めています。
- ・富では、中谷富往復線は津山方面との接続を確保するために運行時刻が約1時間遅くなったため(プラント発 14:05⇒14:50)、不満が高くなっていると考えられます。



#### 【夢広場 (JA鏡野支店) への乗り入れについて】

- ・①夢広場 (JA鏡野支店) へバスで行った方は14.3%となっています。
- ・②バスでは行っていない方のうち、①知らなかったが35.5%で最も多く、次いで②用事がないの32.3%となっています。

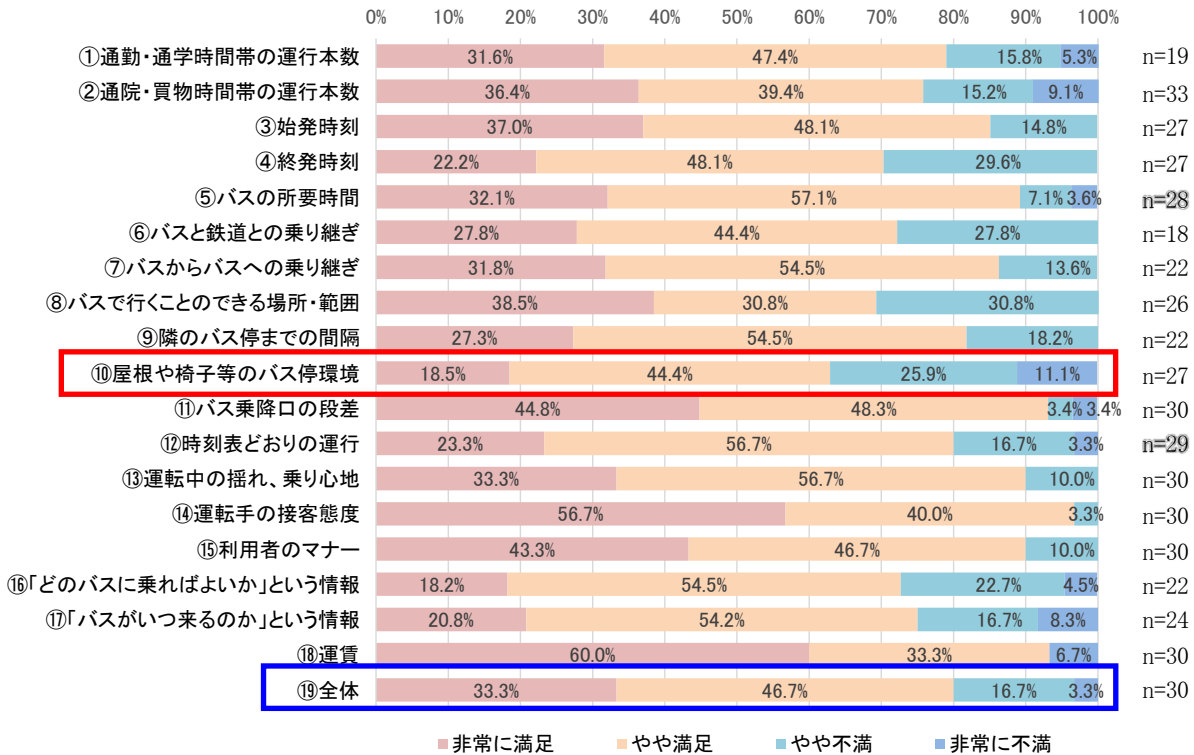


- ① 知らなかった
- ② 用事がない
- ③ 帰りの便がない
- ④ 乗り換えが必要
- ⑤ やることがない(早く帰りたい)
- ⑥ 荷物があるのでバスでは行かない
- ⑦ その他

#### 4) バスに対する意識

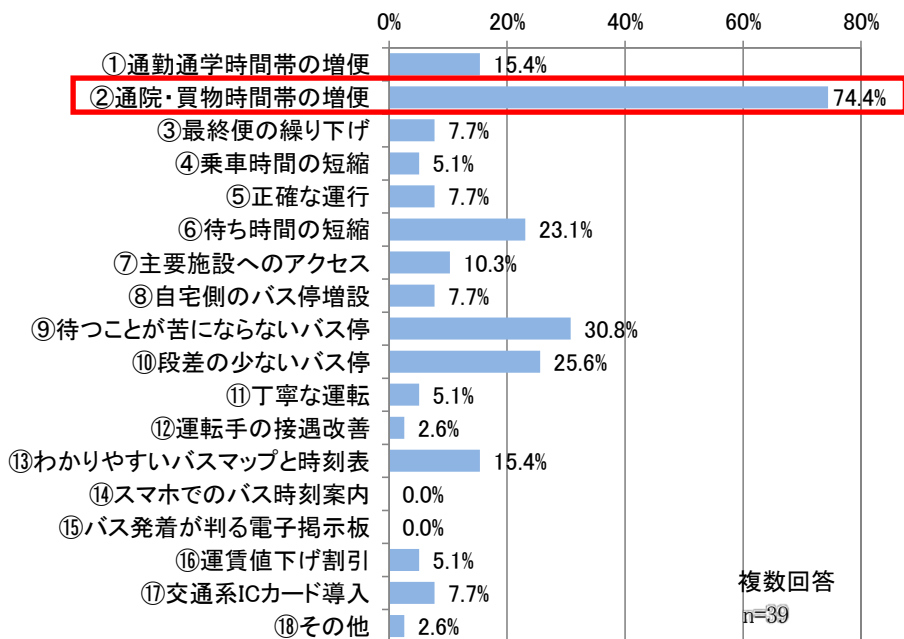
##### 【バスの満足度】

- ・総じて満足度が高い結果となっており、住民アンケートでのバス利用者の満足度とも傾向はにかよった結果となっています。
- ・その中で、比較的不満度の高い項目は、④終発時刻、⑧のバス網、⑩バス停環境となっていますが、不満度は3割程度に留まっています。⑭全体でも満足度は8割程度となっています。



##### 【バスの改善点】

- ・②通院・買物時間帯の増便の要望が圧倒的に多く、7割以上を占めています。
- ・次いで③待つことが苦にならないバス停の30.8%となっています。



# 第4章 上位計画・関連計画におけるまちづくりと公共交通の方向性

## (1) 広域的計画

計画名	津山圏域定住自立圏共生ビジョン		
策定年	平成 29 年 3 月	計画期間	平成 29 年度(2017) ～令和 3 年度(2021)
将来像	(1) 住み慣れた地域に安全安心に住み続けることができる圏域 (2) 産業の活性化としごとの創出による自立した圏域 (3) 圏域内外の交流・移住促進による賑わいある圏域 (4) 圏域インフラ等のネットワークによる結びつきの強い圏域 (5) 地域を支える多様な人材が活躍できる圏域		
施策の 体形			
公共交通 関連施策	<p><b>【圏域公共交通ネットワークの充実】</b></p> <p>お互いの地域に移動しやすい交通網の確保と、公共交通の利用促進や利便性の向上を図るため、利用者の移動動態等の調査・検証や各種公共交通施策についての検討を行い、利用者ニーズに即した地域間のネットワーク強化に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆公共交通連携事業（津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスやJRなどの公共交通について、利便性向上や利用促進を圏域で一体的に進めるため、<u>圏域公共交通連絡協議会</u>を設置し、利用者ニーズに即した各種公共交通施策の調査検討を行い、<u>広域的な公共交通の再構築</u>に取り組む。</li> </ul> </li> <li>◆公共交通確保事業（2種免許取得支援補助）（津山市、鏡野町、勝央町、久米南町、美咲町）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公共交通を担っている事業者において、<u>運転手の高齢化と人材確保が喫緊の課題</u>となっていることから、<u>運転手確保のため、2種免許取得のための支援制度を創設</u>し、公共交通事業の確保を図る。</li> </ul> </li> <li>◆津山・鏡野間バス連携事業（津山市、鏡野町）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・津山・鏡野間の路線バスの動態ニーズ調査を実施し、<u>地域に即したバス路線体制を検討</u>する。さらに、津山・鏡野における<u>拠点施設や観光施設などを公共交通で結び</u>、<u>住民の利便性向上や交流人口の増加</u>を図る。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>KPI（主要業績評価指標）：圏域内地域公共交通機関年間利用者数</b>                  1,226千人（平成27年度）→1,250千人（令和3年度）</p>		



(2) 鏡野町

計画名	鏡野町第2次総合計画（基本構想・基本計画）		
策定年	平成28年3月	計画期間	基本構想：平成28～令和7年度 基本計画：平成28～令和2年度
将来像	<p>■基本理念 ○交流・連携する里 ○安心・安全な里 ○子どものきらめく夢・未来を実現する里</p> <p>将来像 キャッチフレーズ：「森といで湯と田園文化の里」 スローガン：「ひとと自然にやさしい虹が広がる里」</p> <p>■将来人口；令和7年(2025年) 11,430人</p>		
概要	<p>■土地利用の方針</p> <p>○自然環境の保全 ○快適な生活環境の形成 ○安全・安心に暮らせる環境の整備</p> <p>◇将来都市構造</p> <p>センター（中心地） 住民活動や都市活動の拠点的作用を担う地区であり、文教、保健機能等の整備や快適で潤いのある空間の整備を進め、魅力ある中心地としての機能向上を図る。</p> <p>サブゾーン（地域核） センターを補完し、日常生活の拠点的作用を担う地区であり、生活の利便性や快適性の維持を図る。</p> <p>■5つの柱（政策）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ころあたたかい福祉の里づくり</li> <li>2. 地域経済を支える里づくり</li> <li>3. 創造豊かな教育・文化の里づくり</li> <li>4. 快適な生活環境の里づくり</li> <li>5. みんなでつくる里づくり</li> </ol>		
公共交通 関連施策	<p>■施策の目的</p> <p>対象：町民、町内の公共交通機関利用者 意図：便利に町内外へ移動できるようにする。</p> <p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H14の道路運送法改正をきっかけに、バスについては赤字路線から民間事業者が次々と撤退し、高齢者を中心とした交通弱者の方々の移動に支障が生じたことから、町営バスや福祉バスといった形で、町がバス事業に算入してきた。</li> <li>・現在、津山・富線共同バス、鏡野町営バス、福祉バスの他、委託運行路線によりバスの運行を確保</li> <li>・町民アンケートではバスの利用に関して、満足している町民の割合が33%前後で推移、さらに高いものを求めている状況である。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利用促進</li> <li>・利用しやすい公共交通体系についての検討</li> <li>・交通事業者などとの連携強化と運行維持</li> </ul> <p>役割分担</p> <p>町民・地域・事業所等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民は公共交通機関の利用に心掛ける</li> <li>・運行事業者は、利用者ニーズを的確に把握するとともに、安全性を確保しながら、快適・安全で利用しやすい公共交通の運行に努める。</li> </ul> <p>行政（町）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通利用促進のための普及啓発を行う</li> <li>・町民ニーズを的確に把握し、公共交通機関の利便性向上を図る。</li> <li>・生活交通路線が安定して運行を維持できるよう、国・県に支援を要望</li> </ul> <p><b>目標値 町営バスなどを利用したことのある人に関して満足している割合 H26 33.1%⇒R2 38.0%</b> <b>町営バス・タクシー利用者数 H26 18,156人⇒R2 20,000人</b></p> <p>目標値達成のための取り組み方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①利便性の確保・向上による利用促進</li> <li>②運行車両の充実</li> <li>③公共交通機関などとの連携強化</li> </ol>		

計画名	かがみの創生総合戦略		
策定年	平成27年10月	計画期間	平成27年度～令和2年度
基本的な考え方	人口減少問題克服と持続的発展に向けて		
町の役割と方針	<p>(1)町の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町は総合計画に掲げている目指す町の姿や地域別の構想を踏まえつつ、地域の課題回悦のための施策を講じる。それとともに町民が主体となり、地域の特性を生かした取り組みを積極的に支援する。</li> </ul> <p>(2)方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口問題の克服、本町の持続的な発展の実現に向けて、基本認識や対策の方針を示し、積極的な情報発信を行う。</li> </ul>		
概要	<p><b>1【本町の発展可能性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションできるソーシャル・キャピタルと信頼関係の存在</li> <li>子育て支援など公的社会サービスの充実</li> <li>豊かな自然を生かした、多様な観光資源の存在</li> <li>豊かな農業・林業等の産業基盤の存在</li> <li>高速交通網の結節点に近く、町外部との交通インフラの存在</li> <li>人形峠といった他の地域にない産業資源</li> </ul> <p><b>2【基本的視点】</b></p> <p>&lt;視点1：人口減少（自然減と社会減）に歯止めをかける&gt;</p> <p>&lt;視点2：当面避けられない人口減少から生じる諸課題に的確に対応する&gt;</p> <p><b>3【基本目標】</b></p> <p>(1)「かがみの」の強みを生かし、若い世代の希望をかなえる少子化対策と人を呼び込む魅力ある郷土「かがみの」づくりの推進</p> <p>(2)人口減少社会に的確な対応と、地域の持続的な発展のための経済力と活力の維持</p> <p>(3)コミュニティの再構築の地域活性化の取り組みを行う人材の育成</p> <p><b>4【講ずべき対策】</b></p> <p>(1)人口減少に歯止めをかけるための対策</p> <p>イ 若い世代の希望をかなえる少子化対策の推進（自然減対策）</p> <p>①次世代育成に向けた意識の醸成 ②安心して家庭を気づける環境の整備（出会い・結婚）</p> <p>③妊娠・出産の希望がかなう環境の整備（妊娠・出産） ④子育て支援の充実（子育て）</p> <p>ロ 人を呼び込む魅力ある郷土「かがみの」づくりの推進（社会減対策）</p> <p>①産業振興と雇用創出 ②移住・定住の促進 ③多様な人材が活躍する社会の実現</p> <p>④魅力ある子育て環境と教育環境の整備 ⑤コミュニティの発展</p> <p>⑥安全・安心な地域づくり ⑦情報発信力の強化</p> <p>(2)人口減少社会に的確に対応するための対策</p> <p>イ 地域の持続的発展のための経済力の確保</p> <p>①生産性向上と高付加価値化の促進 ②女性・高齢者等の労働参加率の向上</p> <p>ロ 地域の持続的発展のための活力の維持</p> <p>①地域社会の活性化 ②行政運営の効率化・最適化、そして施策・事業推進のために連携拡大</p>		
公共交通 関連施策	<p><b>【推進施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通ネットワーク形成支援等による持続可能な地域づくり</li> <li>行政需要を踏まえた行政サービスの広域的な集積・効率化の検討</li> <li>近隣市町との広域連携事業の実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>		



### (1) 鏡野町及び公共交通に関わる問題点

#### ○人口減少と少子高齢化に伴う地域活力低下と施設配置

##### ◆過疎化進展と高齢化の新たなステージへ

- ・人口減少は今後も進み、高齢化は、これまでの増加傾向から40%前後で推移するという新たなステージを迎えようとしており、地域活力の低下が懸念されます。

##### ◆生活関連施設の中心部での集積

- ・生活関連施設は、旧町村ごとに小規模ながら立地していますが、スーパーやホームセンター等は、鏡野地域にしかなく、周辺地域から地理的に遠い状況です。

##### ◆バスアクセス可能性のある観光関連施設

- ・一部の自然体験型施設を除き、多くの観光施設が路線バス、町営バス、福祉バスの沿線に位置することから、公共交通を使ったアクセスが可能で、地域活性化への寄与が期待されますが、ダイヤの問題があります。

#### ○公共交通の使いにくさ・わかりにくさ

##### ◆多様な公共交通と異なる運賃体系

- ・一般的な石越線、奥津温泉線のほか、委託運行の上齋原マルナカ線や旧町村の制度を引き継いだ町営バスと福祉バス、乗合タクシー、高校通学に特化した津山富線共同バスが運行しており、異なった運行主体、運行体系、運賃体系で公平性に欠けています。

##### ◆少ない便数と使いにくいダイヤ

- ・町営バス、福祉バスでは限られた車両と運転手で運行しているため、月水金、または火木土の隔日運行が多くなっています。

##### ◆不十分な情報提供

- ・町内の公共交通の情報は、ダイヤ改正の際の広報、鏡野町ホームページや有料アプリ(一部は無料)で利用可能ですが、ホームページでは、スマホ未対応、帰りの記載がない、時刻表データをダウンロードする必要など利便性に欠ける面もみられます。
- ・津山圏域全体のバスマップはあるが時刻表や運賃の案内は直接みることができず、QRコードから各市町ホームページをみる形となっています。
- ・路線と運行時刻の要望を伺うと現在運行されている路線・時刻があり、情報提供が浸透していません。

#### ○公共交通利用者の減少

##### ◆厳しいバス需要の見通し

- ・少子化はバス通学高校生の減少を招き。また高齢者、特に女性高齢者の運転免許保有率が高くなり、免許の自主返納が浸透しつつも、今後、バス利用者が回復するとは考えにくいと思われます。
- ・観光入込客、特に訪日外国人の急増のなか、これが鏡野町の路線バス利用増加までには至っていません。
- ・このまま何も対策しなければ、現在以上に公共交通の維持・存続が困難になることが想定されます。

#### ○多様なバスへの不満、期待と要望

##### ◆公共交通に対する様々な不満・要望

- ・バスに対する要望・不満としては、運行本数、路線網、ダイヤが関連した指摘が多くなっています。
- ・高校の通学の主な手段が自動車の同乗で、運賃やダイヤ、運行時間帯、本数の面で、バスが通学に対応できなくなっていることが伺えます。
- ・住民からの要望、陳情のほとんどは切実なものですが、利用者としては少数であることが多く、実現しても利用者は極めて少ないというケースも見られます。

##### ◆将来の不安に対するバスへの期待

- ・バスを利用しない理由で最も多い回答は、「自分で運転できる」となっていますが、将来において免許返納した場合の代替移動手段としての期待は高く、潜在的な需要はあるものと考えられます。

#### ○自治体・交通事業者の負担増

##### ◆自治体の負担増・非効率

- ・利用者収入の減少は、自治体の赤字補てんが常態化しており、鏡野町でも税収減少に加え福祉面などの義務的経費増加により、将来は、公共交通への補助に振り分ける余力減少が懸念されます。
- ・自治体が事業主体となり運行させている町営バス、ごんごバス等についても、利用可能な沿線地域とそうでない地域との不公平感もより顕在化してくるものと懸念されます。

##### ◆交通事業者の負担増

- ・コロナ禍対策をはじめ、IoT時代に対応したバス運行情報(共通フォーマットへの参加)などの運行以外での新たな対応が求められています。

##### ◆担い手不足と高齢化

- ・近年、タクシー・バスの運転手が全国的に不足しており、補充ができず高齢化が顕在化しています。

## (2) 公共交通の維持活性化に向けた課題と方向性

### ○わかりやすい公共交通体系の構築

#### 課題1 わかりやすい公共交通体系の構築

【方向性】・利用者(来町者含む)からみればわかりやすさを高め、運行側や行政側からすれば、利用実態把握、施策展開の実効性、即応性を高めるために、混在する公共交通の統合・整理を進めます。  
・これらの統合・整理に際しては、幹線と支線の乗継に十分配慮されているものとします。

#### 課題2 公平で適正な運賃体系への見直し

【方向性】・合併前からの制度を見直し、公共サービスとして受益者の負担を求めながら、鏡野町全体の公平で明確な運賃体系への見直しを図ります。

#### 課題3 隔日運行への対応

【方向性】・町営バス、福祉バスでの隔日運行に対し、統合・整理と合わせて隔日運行から可能な限り週5日以上の運行を目指し、それでも隔日運行が残る場合には、これを補完する新たな交通手段や支援策を確保します。

#### 課題4 情報提供の充実

【方向性】・紙媒体、インターネットに偏らずより多くの方が鏡野町の公共交通情報を平易に得ることができる情報提供の充実を図ります。  
・鏡野町に限らず津山市、真庭市方向との公共交通での接続便についても、両市に劣ることのない情報提供の充実を図ります。  
・各種の行政サービスとして実施されている運賃割引制度や交通費補助制度をわかりやすく持続的に町民へ広報します。

### ○バス離れの抑制を目指した公共交通の利便性向上

#### 課題5 「いつかは利用する」潜在需要の掘り起し

【方向性】・「いつかは利用する」、「返納したら利用する」ではなく、お試しでも良いので「今、利用して頂く」ための潜在需要の顕在化を図る取組みを実施します。

#### 課題6 利用者ニーズへの対応と効率化

【方向性】・アンケート等で得られた様々なニーズに対して、可能な範囲においてバス停間隔、商業施設や病院等へのアクセスや経由地、ダイヤの見直し、バス停整備等に応え、バス利用者を少しでも増やす取組みを実施します。  
・利用者の状況を踏まえ、必要に応じて車両の小型化や運行本数の削減等も検討します。

#### 課題7 バスによる通学手段の維持確保

【方向性】・高校生が、安心して通学し心置きなく部活動にも参加できるよう登校・帰宅対応のバス便をバス事業者に限らず、学校、自治体、住民の協働で構築していきます。

### ○公共交通の持続性に寄与する支援策

#### 課題8 担い手の確保

【方向性】・2種免許取得に対して周辺自治体と一緒にした支援を継続していきます。

#### 課題9 協働による公共交通活性化への支援

【方向性】・鏡野町まちづくり課や交通事業者だけではなく、庁内他部局、地域住民、企業等と協働し鏡野町の公共交通の活性化を支援する仕組みづくりを構築します。

### 6-1 基本理念と基本方針

鏡野町における公共交通の課題を改善するため、公共交通の基本理念と基本方針を以下のように設定します。

#### 【基本理念】

人と自然が共生した、快適で安心して暮らせる町の発展を支えるため、地域の特性に応じた持続可能な地域公共交通網の形成を目指します。

#### 基本方針1 便利でわかりやすく持続可能な公共交通の形成

- ・効率的、効果的な公共交通網を構築、維持し、地域の状況に応じた運行サービス提供や公共交通空白地域の解消などにより、利便性向上を図ります。
- ・住民や来町者が安心して気軽に便利に利用できる公共交通とするため、情報提供方法やバス待ち環境の改善、高齢者等に配慮した車両等の導入促進を図ります。

#### 基本方針2 まちづくりや地域の維持活性化と連携する公共交通の形成

- ・地域拠点をバスで利用する方の利便性を高め、地域内外の移動を活性化します。
- ・まちづくりや地域づくり活動を行う団体、商業施設やボランティア、各種事業者などと連携して、地域の活性化の中での公共交通の役割を共有し、ともに活性化するような取組みを推進します。

#### 基本方針3 交流創出に寄与する公共交通の形成

- ・町外からの来町者に対して、地域の魅力の発信とともに公共交通によるアクセスを案内し、人との交流を活性化させます

#### 基本方針4 広域的な連携による公共交通の形成

- ・近隣市町と連携して、広域的な公共交通網の維持、発展を図ります。

## 6-2 公共交通の目標と数値指標

公共交通の基本理念と基本方針を踏まえ、公共交通の目標と具体的な数値指標を以下のように設定します。

### (1) 公共交通の目標

#### 基本方針1 便利でわかりやすく持続可能な公共交通の形成

##### 目標1 公共交通ネットワーク等の整備・充実

- ①町の骨格となる幹線と、それに結節する支線からなる持続可能な公共交通網を基本として再構築します。これによりバス運行日は、2往復以上できるよう改善に取り組めます。
- ②路線バスの運賃体系を見直し、負担の軽減を図ります。福祉バスでは、旧町村で異なる運賃を公平で適正な運賃体系にするため、町内移動は原則、全路線均一の運賃とします。
- ③乗降の段差があることによって身体的にバスが使いにくい、バス停までの距離が遠い等の環境にある、高齢者、障がい者、運転免許返納者、妊産婦等の方には、それを補完するためのタクシー利用に対する助成を行います。

##### 目標2 交通結節点での利便性・快適性向上

- ①公共交通による中心部や地域拠点などの交通結節点での幹線バスと支線バス等との乗り継ぎを改善します。また乗り継ぎ情報の提供を充実させます。

##### 目標3 公共交通に関する運行情報等の充実

- ①あらゆる媒体を活用し、公共交通に関する情報をわかりやすく提供します。

#### 基本方針2 まちづくりや地域の維持活性化と連携する公共交通の形成

##### 目標4 交通結節点でのバス待ち環境の整備・充実

- ①交通結節点でのバス待ち環境の改善を行います。

##### 目標5 他事業者や各種団体等と連携した地域及び公共交通の活性化

- ①住民相互の交流や地域づくり活動、イベントなどの機会を捉えて公共交通の面から支援します。
- ②路線沿線の商業施設等と連携して公共交通利用者の呼びみや地域の事業者と連携して、公共交通ネットワークを活用した貨客混載など地域で公共交通を応援・活用する仕組みづくりに取り組めます。

#### 基本方針3 交流創出に寄与する公共交通の形成

##### 目標6 公共交通による地域資源等へのアクセス充実

- ①鏡野町内の自然や観光、イベントなどの多彩な地域資源を連絡する公共交通ネットワークの充実とともに、バスによるアクセス情報提供を充実させます。

#### 基本方針4 広域的な連携による公共交通の形成

##### 目標7 他市町と連携した広域的公共交通ネットワークの維持整備

- ①近隣や圏域市町と連携しながら、公共交通ネットワークの維持や充実に向けた活性化事業を協力して行います。



## (2) 目標に対する数値指標

4つの基本方針、7つの目標に対して、本計画期間中に達成すべき9つの評価指標と目標値を次の通り設定します。

基本方針1		便利でわかりやすく持続可能な公共交通の形成		
評価指標	現状値	目標値	指標の入手・確認方法	
(1)バス利用者数	47.6千人/年	48.0千人/年	事業者による報告	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化に伴い、高校生の通学利用目的の利用が減少することが想定されるが、免許返納者が増加傾向にあること、ダイヤや運賃の見直し、各種施策等による利便性向上策の実施により、現状から若干の上乗せを目標値とする</li> </ul>				
(2)バス利用者のバス全体への満足度	59.3%	70%	次期計画策定時のアンケート調査 鏡野町民アンケート（毎年実施）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイヤや運賃の見直し、各種施策等による利便性向上策の実施により、現状の59.3%（バス利用者）の満足度から概ね10%の上昇を目標値とする（10人のうち1人が不満 ⇒ 満足に変わる）</li> </ul>				
(3)鏡野町の公共交通に対する運行補助	8.1千万円	8.5千万円	鏡野町調べ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内均一運賃による運賃収入減少、利便性向上のために乗り合いタクシー（富一箱線等）の増便や福祉バスの町営バス化によるダイヤ見直し（増便含む）による運行費用増加、タクシー補助導入による新たな費用負担など、財政負担増が想定される</li> <li>・ただし、福祉バスの有料化に伴う運賃収入増も期待され、結果として鏡野町としての財政負担を極力抑制することを目標とする</li> </ul>				
(4)町営バス等の収支率	6.2%	6.2%	鏡野町調べ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象路線 現状：鏡野町営バス、上齋原マルナカ線、乗り合いタクシー（富一箱線、富一勝山線） 計画終了時：上記4路線＋上齋原、奥津、富の福祉バス（有料とし町営バスと一体化） その他のバス路線は、真庭市、津山市を運行するため対象外とする</li> <li>・算出方法 収支率＝ 運賃収入（利用者×運賃） / 運行費用補助 車両の維持に関わる費用等は対象外とする</li> <li>・①福祉バスにおけるダイヤ見直し（増便含む）による運行費用の増加と有料化に伴う運賃収入増、 ②乗り合いタクシーでは増便による利用者増と町内均一運賃による乗り継ぎ利用分の減収、 ③町内均一運賃とすることによる幹線バス利便性が向上し、乗継利用者増加による収入増等、様々な要因を想定した試算を踏まえ、収支率は現状維持を目標とする</li> </ul>				

現状値はすべて令和元年度の値

基本方針2		まちづくりや地域の維持活性化と連携した公共交通の形成		
評価指標	現状値	目標値	指標の入手・確認方法	
(5)地域行事等へのバス活用	未実施	4回/年	鏡野町調べ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定される地域行事：自治会や老人クラブ、婦人会等が会員等に向けに主催する行事 例 買物ツアー 花見ツアー バス乗り方教室 外出訓練 等</li> <li>・町内4地域ごとに1回/年程度の取り組みを想定する</li> </ul>				
(6)沿線施設や事業者・団体等によるバス活用・支援への取り組み数	未実施	4回/年	鏡野町調べ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定されるバス活用の取り組み 例 貨客混載輸送 幼稚園・小中学校等の校外行事への路線バス、町営バス利用 等</li> <li>・想定されるバス利用拡大への取り組み 例 バス利用者への特典付与（割引、ポイント加算、粗品進展等） 等</li> <li>・町内4地域ごとに1回/年程度の取り組みを想定する</li> </ul>				

・基本方針3 交流創出に寄与する公共交通の形成			
評価指標	現状値	目標値	指標の入手・確認方法
(7)イベント等でバスを活用した回数	未実施	4回/年	鏡野町調べ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定されるイベント： 大納涼祭、産業祭り、夢広場味覚祭（春、冬） 等</li> <li>・バス活用の取組み（想定） 例 臨時便運行 会場へのルート変更 臨時バス停 バスダイヤの広報 等</li> </ul>			
(8)観光協会 HP 及びそこで紹介されている施設のうち、バスアクセスまたは中鉄北部バス、鏡野町営バスのリンクが掲示されている箇所数	6箇所	10箇所	鏡野町調べ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設名で検索した場合を考慮し、各施設のHPにバスアクセスの案内が記載されていることが必要と考えるため、各施設HPでの記載も進める</li> <li>・現状値：観光協会、妖精の森ガラス美術館、国民宿舎いつき、奥津荘、米屋倶楽部、池田屋河鹿園の6箇所。ただし、古い情報が記載されている箇所も見られる</li> <li>・目標値：現状に加え、4箇所程度の協力を想定する</li> </ul>			

基本方針4 広域的な連携による公共交通の形成			
評価指標	現状値	目標値	指標の入手・確認方法
(9)近隣市及び圏域市町での公共交通連携に関する取組み数	4	7	鏡野町調べ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状値：ごんご西循環バスの延伸 津山富線共同バスの運行 石越線・奥津温泉線の運行 新型コロナウイルス感染対策</li> <li>・目標値(想定)： 継続事業 ごんご西循環バスの延伸 津山富線共同バスの運行 石越線・奥津温泉線の運行 新型コロナウイルス感染対策 新規事業 第二種免許取得支援の再開 市町間連絡バスの新たな運賃検討・導入 各種最新技術導入に対する研究 (MaaS 自動運転 GTFS 事業 交通系 IC カード 等)</li> </ul>			

GTFS : General Transit Feed Specification

公共交通機関の時刻表と地理的情報に関する公開データ及びそのデータフォーマット

MaaS : Mobility as a Service

自動車や鉄道をはじめとしたあらゆる交通手段による「移動」を「サービス」として捉え、より利便性の高い



## 第7章 目標達成に向けて取り組む施策

### 7-1 目標達成に向けて取り組む施策の概要

7つの目標を達成するために以下の10の施策に取り組みます。

#### 目標1 公共交通ネットワーク等の整備・充実

##### 【公共交通ネットワークに対する考え方】

中鉄北部バスが運行する(委託運行含む)石越線、奥津温泉線、上齋原マルナカ線、ごんごバス西循環線を町の公共交通の幹線として、また各地域から幹線に接続する既存の町営バス、福祉バス等を支線と位置付けて、幹線と支線からなる公共交通体系を維持していくことを基本とします。

#### 施策1 既存路線の統合・整理によるバス網の再構築

##### ■幹線

##### (1) 中鉄北部バス 石越線、奥津温泉線の維持

- ・当該路線は、主に国道179号を運行し上齋原、奥津、鏡野の各地域と津山市内を結ぶ路線で、鏡野町の縦軸となり、地域の骨格を形成する路線です。
- ・通勤・通学に対応していることから、当面運行を維持することを前提としますが、経由地の変更や利用者の少ない区間や便については、運行区間の短縮、ダイヤの変更、廃止を検討します。

##### (2) 上齋原 - マルナカ線の維持

- ・石越線、奥津温泉線とほぼ同じルートを運行する形態で、同様に鏡野町の骨格を形成する路線です。
- ・昼間の生活交通に対応した当該路線は、当面運行を維持することを前提としますが、利用者の少ない便については、ダイヤの変更、廃止を検討します。

##### (3) 津山富線共同バスの維持

- ・富から津山市街地への通勤・通学者を対象に運行している津山富線共同バスは、津山市、真庭市の意向も考慮しながら当面現状を維持します。

##### (4) ごんごバス西循環線の維持

- ・津山市街地への通院や買物など広域的な生活交通に対応しているごんごバス西循環線の鏡野町延伸乗入れについては、津山市の意向も考慮しながら当面現状を維持します。

##### (5) 富と真庭市方面との連絡方法の検討

- ・富と真庭市方面への移動については、真庭コミュニティバス「まにわくん」(以下、「まにわくん」と称す)との連絡方法について、関係機関とともに町営バスや乗合タクシーなども含めた検討を行います。

##### ■支線

##### (6) 町営バスの再編(中谷線 公保田線 郷線 越畑線)

- ・現状の2名2車での運行を当面維持します。利用者の少ない路線での車両の小型化や区間短縮について検討します。
- ・車両と乗員の運用に余裕が出来た場合には、利用の多い隔日運行路線の補完運行を検討します。

##### (7) 乗合タクシーの充実

- ・富-勝山間の乗合タクシー(やませみ号)は、高校生の通学のほか買い物や通院などのため「まにわくん」と接続できるようデマンド方式での運行を検討します。

- ・富から鏡野中心部への連絡に対応している富一箱線は、現在のデマンド方式で週6日1日1往復を、利用状況を見ながら週6日1日2往復化を検討します。

### (8) 福祉バスの再編

- ・町営バスに移行、道路運送法の適用対象とし、運行の安全性と利便性の一層の向上を図ります。
- ・移行に際しては、①幹線との接続を重視した「定時定路線運行」、②予約を受けた時に限り、概ね決まったダイヤで概ねの決まった区間を中心に運行する「区域運行」、③予約を受け自宅から目的地(制限あり)をドアツードアで運行する「フルデマンド運行」等の運行形態などを住民や利用者とともに検討します。

### (9) その他

- ・大町地区で実施されている地域住民が主体となった「移送サービス」を踏まえ、その持続可能性も含め先進地の状況等を研究しつつ、支援制度の検討を行います。

事業主体・関係者	鏡野町 交通事業者
----------	-----------

## 施策2 公平で利用しやすい運賃体系の構築

### (1) 町内移動の均一運賃化(上齋原ーマルナカ線、町営バス、福祉バス、乗合タクシー)

- ・公共交通による町内移動の公平性の観点から、町営バスについては、現行の200円均一運賃を維持し、無料運行の福祉バスは、町営バスに移行し有償運送として、200円の均一運賃とします。
- ・町営バス(福祉バス含む)、乗合タクシーを乗り継いだ場合においても割引を行います。
- ・利用者数の状況、人件費・燃料費の動向、消費税等についてモニタリングし、必要に応じて運賃変更も検討します。

### (2) 石越線・奥津温泉線・津山富線共同運行バスの運賃体系見直し検討

- ・津山市や真庭市と連絡する路線(石越線・奥津温泉線・津山富線共同運行バス)については、現在の距離制から、より緩やかな距離制やゾーン運賃、上限運賃、均一運賃等による運賃体系の見直し及び住民割引などの利用者負担軽減策とそれに伴う費用負担の方法などについて、津山市、真庭市、交通事業者とともに検討します。

### (3) 利便性を高める運賃制度の導入検討

- ・バスの利用特性を踏まえて、一日乗車券、往復割引券、片道定期券、回数券などの導入について検討します。

事業主体・関係者	鏡野町 交通事業者 住民
----------	--------------

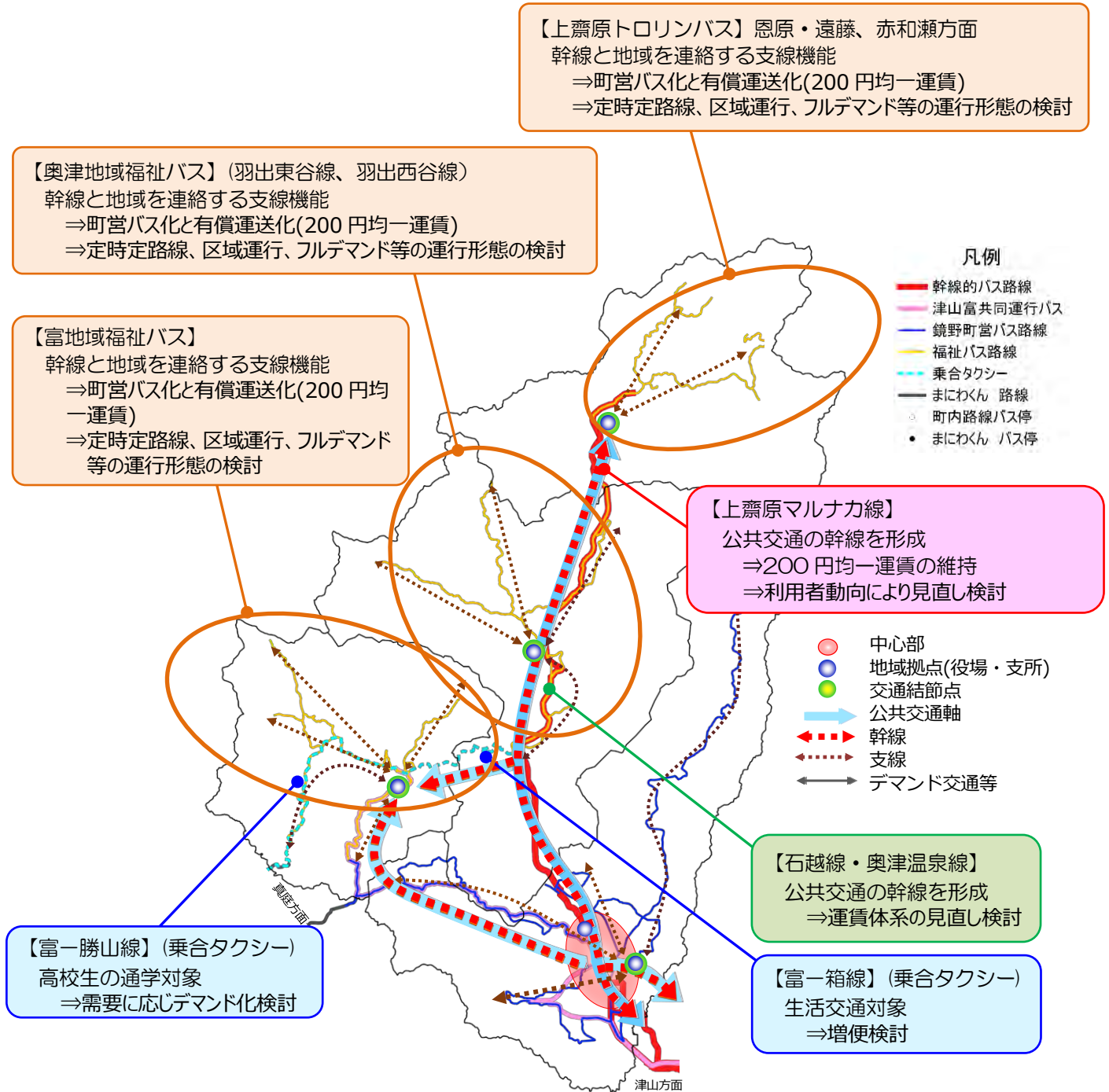
## 施策3 タクシー利用補助制度の導入検討

- ・日常生活交通支援のため、一定の条件(年齢、免許の有無、介護認定 バス停までの距離 障がい者、妊産婦等)を設けて、タクシー利用補助制度の導入を検討します。

事業主体・関係者	鏡野町 交通事業者 住民
----------	--------------



# 鏡野町公共交通体系のイメージ図



公共交通軸：幹線バスによる骨格を形成し周辺市町と連絡する交通軸  
 幹線：バスの大量性により通勤通学や生活交通等に対応し、地域拠点と中心部や周辺市を連絡するバス  
 (奥津温泉線・石越線・上齋原マルナカ線・津山富共同バス・ごんごバス西循環線 等)  
 支線：地域拠点や乗り換え拠点と周辺集落を中心に連絡するバス路線・乗合タクシー  
 (町営バス、(福祉バス)、乗合タクシー 等)

事業主体・関係者 | 鏡野町 交通事業者

## 目標2 交通結節点での利便性・快適性向上

### 施策4 交通結節点での乗り継ぎ改善

- ・幹線バスと支線バス・乗合タクシーとの乗り継ぎに対する不満を解消するため、乗り継ぎ待ち時間の低減を目的に、ダイヤの見直しを適宜行います。
- ・ダイヤの見直しの際には、主要なバス停での乗り継ぎに着目した乗り継ぎ時刻表の作成を行います。

事業主体・関係者 鏡野町 交通事業者

#### 【事例】 乗り継ぎ時刻表



熊本県美里町の例

## 目標3 公共交通に関する運行情報等の充実

### 施策5 誰もが利用でき、わかりやすい情報提供

#### (1) 既往の支援制度の整理と周知徹底、

- ・福祉部局と協働して、既存の免許返納者や身体障がい者、生活保護世帯等に対する公共交通利用の支援制度の整理と活用状況を整理し、住民への周知徹底を図ります。

#### (2) GTFS 事業

- ・GTFS(バス情報のオープンデータ化) に取り組み来訪者や町内のインターネット利用可能者、スマートフォン等利用可能者に向けた情報提供の充実を図ります。

例 町内バス路線のバス NAVITIME への掲載、鏡野町 HP の町内公共交通に関するページの充実とスマホ対応等

#### (3) その他

- ・特に高齢者への情報提供の充実を図るため、ダイヤ改正時には紙ベース(広報かがみのやバスマップ)での情報提供も充実させます。

#### 【事例】 バスマップ

#### GTFS のイメージ



事業主体・関係者 鏡野町 交通事業者





## 目標4 交通結節点でのバス待ち環境の整備・充実

### 施策6 交通結節点でのバス待ち環境整備

- ・ 停留所の環境改善について、鏡野町内でのバス乗換拠点でもあるプラント 5 バス停を整備するため、プラント 5 と設置に向けて協議を行います。

事業主体・関係者	鏡野町 交通事業者 商業事業者
----------	-----------------

#### 【事例】 店舗入口前のバス停



山口県長門市

## 目標5 他事業者や各種団体等と連携した地域及び公共交通の活性化

### 施策7 地域イベントや地域づくり活動での公共交通の活用

- ・ 町内のイベントや地域づくりを行う各種団体と連携し、それらが行う様々な地域づくり活動の取組みを支援するために、主催者の要請があれば、臨時便の運行を検討します。
- ・ 社会福祉協議会や地域づくりを行う各種団体向けに路線バスの活用方を提案して行きます。

#### 【事例】 催し物での路線バス案内



路線バス時刻表を掲載

群馬県高崎市

#### 【事例】 外出訓練での路線バス活用



京都府

#### 【事例】 公民館主催バス乗り方教室



島根県

#### 【事例】 自治会主催買物ツアー



事業主体・関係者	鏡野町 交通事業者 各種団体
----------	----------------



**施策8 各種事業者、団体等との連携による公共交通活性化支援への取組み**

- ・町内外の各種団体、施設や事業者と連携し、公共交通の活性化や支援策につながり、双方にメリットがあるような取組みについて検討し、実施していきます。



(例 学校での校外活動や貨物混載など)

**【事例】 社会科見学でのバス利用**



- ・商工会等を通じて、町内事業者と連携しバス利用者への優遇サービス提供について検討を行います。  
(例 バス利用者への割引券、買い物ポイントの付与 など)

**【事例】 バス利用者への優遇**



島根県松江市

**【事例】 大学サークルとの連携**



放送研究会が車内放送や車掌を担当 (イベント時)

岡山県津山市

事業主体・関係者	鏡野町	交通事業者	各種団体	各種事業者
----------	-----	-------	------	-------

## 目標6 公共交通による地域資源等へのアクセス充実

### 施策9 観光施設への公共交通アクセスの充実

- ・鏡野町に点在する各種観光施設は、自然体験や冬季に開業されるスキー場などの一部を除き、概ね近傍までバス路線（福祉バスを含む）が運行されています。
- ・そこで、これらの施設への公共交通を利用した来町を促進するため、鏡野町観光協会ホームページに記載されている施設については、公式ホームページに道路だけではなく、公共交通によりアクセス方法（例 路線名、降車バス停、所要時間、運賃等）、もしくは、中鉄北部バス及び町営バスへのバナーを記載していただくよう鏡野町観光協会を通じて働きかけます。

#### 【事例】 鏡野町観光協会 HP



事業主体・関係者	鏡野町 鏡野町観光協会
----------	-------------

## 目標7 他市町と連携した広域的公共交通ネットワークの維持整備

### 施策10 津山圏域定住自立圏等を中心とした広域的公共交通ネットワークの維持・整備

- ・隣接する真庭市、津山市を連絡する広域的な機能を持つ石越線・奥津温泉線、津山富共同運行バス、ごんごバス西循環線の延伸を引き続き、両市と協議しながら維持していきます。
- ・津山圏域定住自立圏共生ビジョンで取り組んできた第二種免許取得支援制度の継続を図り、乗務員不足の改善を図ります。
- ・AIやIoTなどの最新技術を活用した交通系ICカード導入、MaaS、情報提供、デマンド運行、自動運転等に対して、導入上のメリット・デメリット、導入適地、各市町との役割分担などについての研究に取り組みます。

#### ごんごバス西循環線



#### 交通系ICカード



#### 【事例】 自動運転バスイメージ



資料：官邸 HP

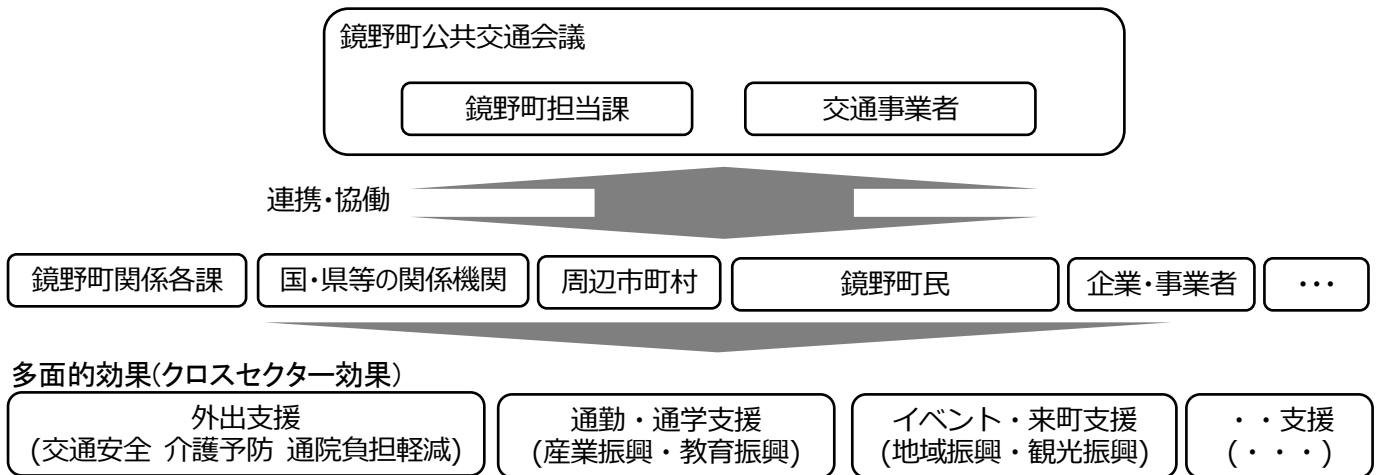
事業主体・関係者	鏡野町 周辺市町
----------	----------

7-2 施策の一覧と事業スケジュール

施策		事業主体	事業スケジュール						
			R3	R4	R5	R6	R7		
目標 1	施策 1	既存路線の統合・整理によるバス網の再構築							
		(1)中鉄北部バス 石越線、奥津温泉線の維持	鏡野町 交通事業者	実施/モニタリング					
		(2)上齋原-マルナカ線の維持	鏡野町 交通事業者	実施/モニタリング					
		(3)津山富線共同バスの維持	鏡野町 真庭市 津山市 交通事業者	実施/モニタリング					
		(4)ごんごバス西循環線の維持	鏡野町 交通事業者	実施/モニタリング					
		(5)富と真庭市方面との連絡方法の検討	鏡野町 真庭市	地元協議/真庭市協議 検討/申請/広報	実施/モニタリング				
		(6)町営バスの再編	鏡野町 交通事業者	地元協議/ダイヤ検討/申請/広報	実施/モニタリング				
		(7)乗合タクシーの充実	鏡野町 交通事業者	地元協議/事業者協議/申請/広報	実施/モニタリング				
		(8)福祉バスの再編	鏡野町 交通事業者	地元協議/事業者協議/申請/地元説明/広報	実施/モニタリング				
		(9)住民が主体となった移送サービスの研究	鏡野町 交通事業者	実施/モニタリング					
	施策 2	公平で適正な運賃体系の構築							
		(1)町内均一運賃制の検討・導入	鏡野町 交通事業者 津山市	事業者・隣接市協議 申請/広報	実施/モニタリング				
		(2)福祉バスの有料化	鏡野町	地元協議/事業者協議/申請/地元説明/広報	実施/モニタリング				
		(3)利便性を高める運賃制度の導入検討	鏡野町 交通事業者	事業者協議/申請/広報	実施/モニタリング				
	施策 3	タクシー利用補助制度の導入検討	鏡野町 交通事業者	関係者ヒア 制度設計/広報	実施/モニタリング				
	目標 2	施策 4	交通結節点での乗り継ぎ改善	鏡野町 交通事業者	地元協議/事業者協議/新規申請/事前広報	実施/モニタリング			
	目標 3	施策 5	誰もが利用でき、わかりやすい情報提供						
			(1)既往の支援制度の整理と周知徹底	鏡野町	実施/モニタリング				
			(2)バス情報のオープンデータ化	鏡野町 交通事業者	実施/モニタリング				
目標 4	施策 6	交通結節点でのバス待ち環境整備	鏡野町 交通事業者 商業事業者	施設との協議等 設計/工事	実施/モニタリング				
目標 5	施策 7	地域イベントや地域づくり活動での公共交通の活用	鏡野町 交通事業者 各種団体	要請・実施/モニタリング					
	施策 8	各種事業者、団体等との連携による公共交通活性化支援への取り組み	鏡野町 交通事業者 各種団体・事業者	要請・実施/モニタリング					
目標 6	施策 9	観光施設等への公共交通アクセス情報充実	鏡野町 鏡野町観光協会	依頼/モニタリング					
目標 7	施策 10	津山圏域定住自立圏等を中心とした広域的公共交通ネットワークの維持整備	鏡野町 周辺市町	実施/モニタリング					

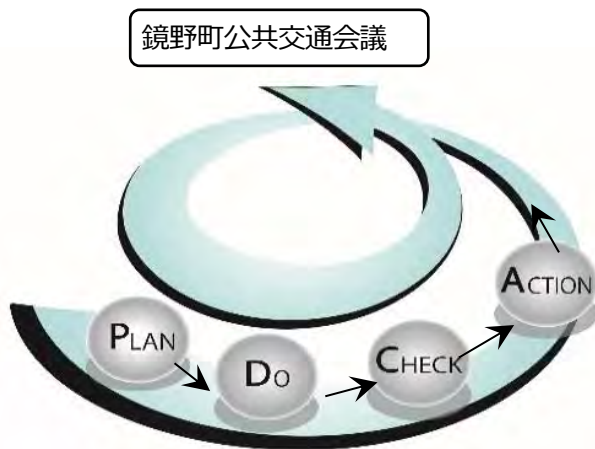
8-1 計画推進のための体制構築

本計画の実現のためには、その施策が多岐にわたることから、担当課、交通事業者だけでは到底、達成できるものではありません。公共交通の維持・整備は、交通安全や介護予防、産業振興、地域振興などの多面的な効果（クロスセクター効果）が期待できることを共通認識し、公共交通会議を始め、鏡野町関係各課、国・県等の関係機関、周辺市町村、鏡野町民、地域の企業事業者、その他様々な団体、組織等と連携していくことが極めて重要です。



8-2 進捗管理と継続的な計画の見直し

事業の実施にあたっては、社会情勢や市民ニーズの変化に合わせて、適宜事業内容を見直し、改善する必要があります。鏡野町地域公共交通会議においては、毎年、進捗管理を把握するとともに、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価・検証）、Action（改善）によるPDCA サイクルを導入による施策の評価・検証を行い、必要に応じて施策の見直し・改善を図りながら、計画を推進します。



- Plan : 計画立案・体制整備
- Do : 計画の実行
- Check : 実施成果の検証
- Action : 施策の改善



【進捗管理方法】

施策		検証主体	公共交通会議への報告事項等					
			R3	R4	R5	R6	R7	
目標 1	施策 1	既存路線の統合・整理によるバス網の再構築						
		(1)中鉄北部バス 石越線、奥津温泉線の維持	鏡野町 交通事業者	利用者数・収支率・補助額報告				
		(2)上齋原-マルナカ線の維持	鏡野町 交通事業者	利用者数・収支率・補助額確認報告				
		(3)津山富線共同バスの維持	鏡野町 真庭市 津山市 交通事業者	利用者数・収支率・補助額確認報告				
		(4)ごんごバス西循環線の維持	鏡野町 交通事業者	利用者数・収支率・補助額確認報告				
		(5)富と真庭市方面との連絡方法の検討	鏡野町 真庭市	状況報告		利用者数・収支率・補助額確認報告		
		(6)町営バスの再編	鏡野町 交通事業者	状況報告		利用者数・収支率・補助額確認報告		
		(7)乗合タクシーの充実	鏡野町 交通事業者	状況報告	利用者数・収支率・補助額確認報告			
		(8)福祉バスの再編	鏡野町 交通事業者	状況報告		利用者数・収支率・補助額確認報告		
		(9)住民が主体となった移送サービスの研究	鏡野町 交通事業者	利用者数・収支率・補助額確認報告				
目標 2	施策 2	公平で適正な運賃体系の構築						
		(1)町内均一運賃制の検討・導入	鏡野町 交通事業者 津山市	状況報告		施策 1 に対応		
		(2)福祉バスの有料化	鏡野町	状況報告		施策 1 に対応		
		(3)利便性を高める運賃制度の導入検討	鏡野町 交通事業者	状況報告		制度利用者数報告		
目標 2	施策 3	タクシー利用補助制度の導入検討	鏡野町 交通事業者	状況報告	利用者数補助額報告			
目標 2	施策 4	交通結節点での乗り継ぎ改善	鏡野町 交通事業者	状況報告	対象路線利用者数確認報告			
目標 3	施策 5	誰もが利用でき、わかりやすい情報提供						
		(1)既往の支援制度の整理と周知徹底	鏡野町	実施状況報告				
		(2)バス情報のオープンデータ化	鏡野町 交通事業者	実施状況報告				
目標 4	施策 6	交通結節点でのバス待ち環境整備	鏡野町 交通事業者 商業事業者	状況報告	バス停利用者数確認報告			
目標 5	施策 7	地域イベントや地域づくり活動での公共交通の活用	鏡野町 交通事業者 各種団体	要請状況・実施状況報告				
	施策 8	各種事業者、団体等との連携による公共交通活性化支援への取組み	鏡野町 交通事業者 各種団体・事業者	要請状況・実施状況報告				
目標 6	施策 9	観光施設等への公共交通アクセス情報充実	鏡野町 鏡野町観光協会	要請状況・実施状況報告				
目標 7	施策 10	津山圏域定住自立圏等を中心とした広域的公共交通ネットワークの維持整備	鏡野町 周辺市町	実施状況報告(一部施策 1 に対応)				



